



Navicat Monitor

バージョン 2 ユーザーガイド

目次

1 - イントロダクション	3
Navicat Monitor について	3
エンドユーザーライセンス使用許諾契約書	4
2 - 入門	16
必要条件	16
インストール	18
オフラインインストール	18
オンラインインストール	19
アップグレード	20
メジャーバージョンアップグレード	20
マイナーバージョンアップグレード	20
初期設定	22
ユーザーインターフェース	26
メインツールバー	26
Navicat Monitor アプリケーション	27
インスタンスを作成	28
3 - 設定	31
アクティベーション	31
バックアップ／移行	33
アプリケーション	34
アプリケーション設定を設定	34
日付と時刻を設定	34
ログハウスキューピングを設定	34
ユーザーとロール	34
ユーザーを管理	34
ロールと権限を管理	36
LDAP／AD 設定を設定	38
セキュリティ設定を設定	39
インスタンスとグループ	39
インスタンスとグループを管理	39
メンテナンスウィンドウを設定	41
SSH／SSL 証明書を追加	42
長時間実行クエリポリシー	43
アラート	43
アラートポリシーの調整	43
通知を設定	46
カスタムメトリックを作成する	47
スケジュールされたレポート	50
ストレージ	51
リポジトリデータベースを管理	51

監視データの消去	51
4 - 概要	53
概要ダッシュボード	53
インスタンスの詳細	55
インスタンスの詳細を表示	55
インスタンス変数を表示、編集	57
データベースとテーブルのサイズを表示	58
長時間実行クエリ	59
長時間実行クエリについて	59
特定のクエリを分析	61
長時間実行クエリチャートをエクスポート	62
チャート	63
チャートについて	63
メトリックを比較	65
チャートをエクスポート	66
5 - アラート	67
アラートについて	67
アラート履歴	67
アラート履歴を表示	67
アラートにフィルタをかける	68
アラートの詳細	70
6 - クエリアナライザ	72
クエリアナライザを起動	72
デッドロックを表示	74
プロセスリストを表示	74
7 - 複製	77
監視対象レプリケーション	77
MySQL/MariaDB レプリケーション	77
SQL Server トランザクションレプリケーション/マージレプリケーション	78
レプリケーションをエクスポート	79
レプリケーションの詳細を表示	81
8 - レポート	83
レポートを作成	83
チャート/ダイアグラムを追加	85
レポートスケジュールを設定	85
9 - コマンド	87
Navicat Monitor コマンド	87
10 - トラブルシューティング	88
ログファイル	88

1 - イントロダクション

Navicat Monitor について

Navicat Monitor は、安全でシンプルなエージェントレスのリモートサーバー監視ツールです。監視を可能な限り効果的にする強力な機能を備えています。監視対象サーバーには、MySQL、MariaDB、SQL Server が含まれ、Amazon RDS、Amazon Aurora、Oracle Cloud Google Cloud Microsoft Azure Alibaba Cloud などのクラウドデータベースと互換性があります。Navicat Monitor は、サーバーベースのソフトウェアで、Web ブラウザーを介してどこからでもアクセスできます。Web アクセスにより、24 時間体制で世界中のサーバーを簡単かつシームレスに追跡できます。

Navicat Monitor の注目点は次のとおりです。

- リアルタイムのインスタンスパフォーマンス監視
- アラート通知の取得とアラートポリシーの設定
- アラートメトリックのカスタマイズ
- スロークエリを識別するクエリアナライザ
- レプリケーションの監視
- チャートの比較と印刷
- レポートメールの送信スケジュールの設定



詳しい情報は、ウェブサイトをご覧ください: <http://jp.navicat.com/>

エンドユーザーライセンス使用許諾契約書

注意: PremiumSoft Navicat のエンドユーザーライセンス使用許諾契約書は英文が正文です。日本語で書かれたこのエンドユーザーライセンス使用許諾契約は参考のため英文を翻訳したものであり、不明な点は日本語翻訳文の下の英文をご参照ください。

重要: 本ソフトウェア エンドユーザーライセンス使用許諾契約は、お客様(個人、あるいは購入または取得の目的となる組織)とプレミアムソフト社との間の契約です。本ソフトウェアをインストールし使用する前に以下の条項をよくお読みください。本契約は本ソフトウェアを使用するライセンスを提供し、保証情報と責任制限を含んでいます。本ソフトウェアをインストールし使用することにより、お客様は本契約に同意したものとみなされます。本契約に同意されない場合、本ソフトウェアをインストールせず購入先に返品してください。本ソフトウェアの中で他のソフトウェアが参照、あるいは言及されていたとしても、本契約はプレミアムソフト社から提供されたソフトウェアにのみ適用されます。

1. 定義

- a. 「教育版」とは、(i)企業、会社、提携会社や関連会社、またはその他の事業体や団体ではない個人 (ii)学生、教員、または教育機関の関係者 (iii)非営利団体または慈善団体のスタッフに限り使用を許諾した、本ソフトウェアを意味します。この定義条項の目的として、"教育機関"とは、公立または私立学校、専門学校、大学そして他の中等教育機関を意味します。非営利団体とは、問題や事態をサポートする目的とした、個人会社や非商用的な公共事業を意味します。
- b. 「再販禁止版」とは、レビューと評価用にのみ使用される、再販禁止版と名づけられた本ソフトウェアのことです。
- c. 「PremiumSoft」とは、PREMIUMSOFT CYBERTECH 社とそのライセンス付与者のことを意味します。
- d. 「本ソフトウェア」とは、PremiumSoft 社が提供する、PremiumSoft 社のソフトウェアプログラムとサードパーティ製のソフトウェアプログラム、対応するドキュメント、関連するメディア、印刷物、そしてオンライン、あるいは電子媒体のドキュメントを意味します。
- e. 「未登録版」、「試用版」または「デモ版」とは、未登録ソフトウェアを初めてインストールしてから 14 日間、評価目的のために使用される、登録されていないソフトウェア ("未登録ソフトウェア") を意味します。試用期間が終了すると、そのユーザーは、本ソフトウェアを登録するか、インストールしたシステムからそれを削除しなければならない。未登録ソフトウェアは、評価目的のために他のユーザーへ自由にコピーして配布できます。
- f. 「Navicat Essentials」は、商用目的で 사용할 ことが認められているソフトウェアのバージョンを意味します。

2. ライセンスの許諾

この第 2 章で許諾されたライセンスは、本契約に記述されている諸条件が適用されます。:

- a. 第 2 章(b)により、お客様は本ソフトウェアを一台のコンピュータにインストールして使用できます。また、お客様が本ソフトウェアをインストールし使用する、個々のコンピュータ毎にライセンスをお持ちの場合は、ネットワークサーバのようなストレージ機器に本ソフトウェアをインストールして保存し、内部ネットワークを通じて他のコンピュータに本ソフトウェアをインストールすることができます。第 2 章(b)の範囲以外では、本ソフトウェアの一ライセンスは、異なるコンピュータ上で同時に共有、インストール、あるいは使用できません。

- b. 第2章(a)で許可された本ソフトウェアの複製に加えて、本ソフトウェアがインストールされたコンピュータのプライマリユーザは、以下の条件下でのみ、本ソフトウェアの複製物を作成し、その人個人が使用する場合に限り、それを携帯用コンピュータ、あるいは自宅のコンピュータにインストールできます
- A. 携帯用コンピュータ、あるいは自宅のコンピュータ上の本ソフトウェアの複製物は、(i) プライマリコンピュータ上の本ソフトウェアの複製と同時に使用できません。そして(ii) 当該のバージョンもしくはエディション(例えば教育利用のみ)が許可されたプライマリユーザのみ使用できます。
- B. 当該ユーザが本ソフトウェアがインストールされたプライマリコンピュータのプライマリユーザではなくなった後は、本ソフトウェアの複製物をインストールも使用もできません。
- c. 本ソフトウェアがパッケージソフト製品(総称して「Studio」)の一部として、プレミアムソフト社の他のソフトウェア製品といっしょに配布された場合は、「Studio」は一つの製品としてライセンス供与され、本ソフトウェアを含む全ての Studio 内の製品は、複数台のコンピュータでのインストール、または使用はできません。
- d. お客様はバックアップ目的で本ソフトウェアの複製を、コンピュータが読取可能な形式で一つだけ作成できます。お客様は本ソフトウェアの元の複製に付随する全ての複製権表示とその他の所有権の注意事項をどの複製にも再作成しなければなりません。お客様はバックアップ目的で作成した本ソフトウェアの複製を販売、譲渡できません。
- e. お客様は、妥当な通知を行うことにより、PremiumSoft 社がお客様がこれらの条項を遵守して本ソフトウェアを使用しているかどうか、いかなる時にも検査できることに同意します。当該の検査によりお客様が本契約の条項に違反して本ソフトウェアを使用していることが判明した場合、お客様は、この検査と条項違反の結果として負担する可能性のあるその他の義務に加えて、関連する全ての妥当な費用を、PremiumSoft 社に払わなければなりません。
- f. 本契約下のお客様のライセンス権は、独占的ではありません。

3. ライセンス制限

- a. 第2章に記載された範囲を超えて、お客様は、本ソフトウェアの複製の作成あるいは配布をしたり、あるコンピュータから他のコンピュータへ、ネットワークを通じて電子媒体として本ソフトウェアを転送できません。
- b. お客様は本ソフトウェアを変更、併合、修正、改変、あるいは翻訳することができません。あるいは、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、または本ソフトウェアを人間が読める形式に変更することはできません。
- c. ここで説明されている範囲外で、お客様は本ソフトウェアを貸したり、譲渡したり、あるいはライセンス権を付与したりできません。
- d. 本ソフトウェアの評価／デモ版そして Lite 版、あるいは再販禁止版を除いて、複製を一切持たず本ソフトウェアを全て譲渡するのであれば、お客様は本契約に基づき販売あるいは譲渡の一部として全ての権利を永久に譲渡することができます(全てのコンポーネント、媒体と印刷物、いかなるアップグレード、当該契約、シリアル番号、そして可能であれば、本ソフトウェアと共に提供されたその他の全てのソフトウェア製品を含む)。そして、受領者はこの契約の条項に同意します。本ソフトウェアがアップグレードであれば、いかなる譲渡も本ソフトウェアの以前の全てのバージョンを含まなければなりません。本ソフトウェアの複製が(上記に記載された)「Studio」

の一部としてライセンス供与されている場合、本ソフトウェアは、個別にではなく全 Studio 製品の販売あるいは譲渡としてのみ、譲渡されなければなりません。お客様は本ソフトウェアの複製を保持することはできません。お客様は、本ソフトウェアの評価／デモ版そして Lite 版も再販禁止版も販売、あるいは譲渡できません。

- e. ここに規定された範囲外では、お客様は本ソフトウェアを変更、あるいは本ソフトウェアに基づいた派生物を作成することはできません。
- f. 教育版は、商用目的では、いかなる相手にも使用または配布できません。
- g. ここに規定された範囲外では、お客様は、
 - A. 本ソフトウェアの評価／デモ版そして Lite 版の複製を合計して二つ以上インストール、あるいは使用してはなりません。
 - B. ユーザ名を二つ以上使用して本ソフトウェアの評価／デモ版そして Lite 版をダウンロードしてはなりません。
 - C. 本ソフトウェアの評価／デモ版の使用期間を、一ライセンスに与えられた評価期間を超えて使用できるよう ハードドライブの内容、あるいはコンピュータシステムを変更してはなりません。
 - D. PremiumSoft 社の事前の書面による許可なく、評価／デモ版そして Lite 版を用いた性能検証の結果を第 3 者に公開してはなりません。
 - E. 本ソフトウェアの商用版、あるいはに対するライセンスを購入するかどうかを決定する目的以外の目的で、本ソフトウェアの評価／デモ版を使用してはなりません。しかしながら、上記にかかわらず、お客様が、いかなる商用トレーニング目的で本ソフトウェアの評価／デモ版または Lite 版をインストール、あるいは使用することは厳しく禁止されています。
- h. お客様は本ソフトウェアをレビュー、評価するためにのみ、本ソフトウェアの再販禁止版を使用することができます。
- i. お客様は本ソフトウェアを二つ以上の媒体で受け取ることがありますが、一つの媒体しかインストール、あるいは使用できません。お客様が受け取った媒体の数にかかわらず、本ソフトウェアがインストールされる予定のサーバ、あるいはコンピュータに適した媒体のみ使用できます。
- j. お客様は複数のプラットフォーム用の本ソフトウェアを受け取ることができますが、一つのプラットフォームにのみインストール、あるいは使用するものとします。
- k. お客様は本ソフトウェアを使用して、本ソフトウェアと同じ主要機能を持ついかなるアプリケーションも開発してはなりません。
- l. お客様が本契約に従わない場合、PremiumSoft 社はお客様のライセンスを終了させることができます。その場合、お客様は本ソフトウェアと、その全ての複製を破棄しなければなりません。(このように、ライセンスが終了された後も、本契約の両者の権利と条項は全て有効です。)
- m. This program may include Oracle Instant Client (OCI). You agree that you shall

1. not use of the Oracle Instant Client to the business operations;
2. not assign, give, or transfer the Oracle Instant Client or an interest in them to another individual or entity;
 - a. make the Programs available in any manner to any third party for use in the third party's business operations; and
 - b. title to the Programs from passing to the end user or any other party;
3. not reverse engineer, disassemble or decompilation the Oracle Instant Client and duplicate the Programs except for a sufficient number of copies of each Program for your licensed use and one copy of each Program media;
4. discontinue use and destroy or return to all copies of the Oracle Instant Client and documentation after termination of the Agreement;
5. not publish any results of benchmark tests run on the Programs;
6. comply fully with all relevant export laws and regulations of the United States and other applicable export and import laws to assure that neither the Oracle Instant Client, nor any direct product thereof, are exported, directly or indirectly, in violation of applicable laws;
7. allow PremiumSoft to audit your use of the Oracle Instant Client;

4. アップグレード

本ソフトウェアの複製が、本ソフトウェアの以前のバージョンからのアップグレード版の場合、それは、ライセンス交換に基づいてお客様に提供されています。お客様は本ソフトウェアの当該の複製をインストール、あるいは使用することにより、任意に以前の契約を終了させ、本ソフトウェアの以前のバージョンを続けて使用しないこと、あるいは第 3 章に準拠する譲渡を除いては、それを他の個人または組織に譲渡しないことに同意します。

5. 所有権

先述のライセンスは、本ソフトウェアを使用するに当たり制限されたライセンスをお客様に供与します。PremiumSoft 社とその供給者は、(お客様が開発したアプリケーションの基礎となる、独立した著作物として、基本となる著作物としての)本ソフトウェアとその全ての複製に対して、全ての著作権と知的財産権を含み、全ての権利、名称、そして利権を保持します。連邦著作権と国際著作権を含み、本契約に明示的に供与されていない全ての権利は、PremiumSoft 社とその供給者に保有されます。

6. 限定保証と免責条項

- a. 本ソフトウェアの評価／デモ版そして Lite 版と再販禁止版を除いて、PremiumSoft 社は、配布日(お客様のレシートのコピーで確認)から 30 日間、本ソフトウェアが提供された物理媒体が通常の使用において材料および仕上がり欠陥がないことを保証します。本ソフトウェアは「保証なし」で提供されます。明示的でも黙示的でも、取引の過程や商慣習から発生しても、法的にも、いかなることにおいても、PremiumSoft 社は一切の保証を負いません。

- b. PREMIUMSOFT 社は本ソフトウェアの評価／デモ版そして Lite 版と再販禁止版については、明示的であっても黙示的であっても、PremiumSoft 社は何の救済策も何の保証も提供しません。本ソフトウェアの評価／デモ版そして Lite 版と再販禁止版は「保証なし」で提供されます。
- c. 本ソフトウェアの評価／デモ版そして Lite 版と再販禁止版以外の本ソフトウェアに関する前述の限定保証での定義を除いて、市販性、特定目的との適合性を含む明示的、暗示的、もしくはそれ以外の保証をすることなく、PremiumSoft 社とその供給者はすべての他の保証と言明事項を破棄できます。。また、権利と所有権を侵害していないこと、または安居権を保証致しません。、PremiumSoft 社は本ソフトウェアにバグがないこと、あるいは障害なく動作することを保証致しません。本ソフトウェアは、デザイン、工事、核施設の維持運用、飛行機の運航、通信システム、航空管制、生命維持、武器システムを含み、フェイルセーフな制御を要求する危険な環境での使用を目的に設計、および、それを目的としていません。また、ライセンス供与されてもいません。PremiumSoft 社は明確に、そのような目的への適性を、明示的にも黙示的にも保証致しません。
- d. 準拠法が本ソフトウェアに関するなんらかの保証を要求する場合、全ての当該の保証は配布日から 30 日間に限定されます。
- e. PremiumSoft 社、ディーラー、販売業者、代理人、あるいは従業員から与えられた口頭の、あるいは書面の情報、あるいはアドバイスは、保証を提供されるものではなく、また、ここで提供される保証範囲を広げるものでもありません。

7. 賠償責任の制限

(a) 例え Premiumsoft もしくはその販売代理人がそのような損失の可能性を助言したとしても、PremiumSoft 社もその供給者も、本ソフトウェアの使用または使用できないことから生じ、契約違反、保証違反、(過失を含む)不法行為、その他の製品責任を含むいかなる見解に基づく、いかなる間接的、特別の、付随的、懲罰的、あるいは結果的に生じる損害(これだけに限られないが、機器使用不能、あるいはデータアクセス不能に対する損害、ビジネス損失、利益の損失、事業中断、あるいは同種のものを含む)に対して、お客様に対してもサードパーティに対しても責任を負わないものとします。

tort (including negligence), product liability or otherwise, even if PremiumSoft or its representatives have been advised of the possibility of such damages.

8. サードパーティソフトウェア

本ソフトウェアは注意事項、追加条項や条件を要求するサードパーティ製のソフトウェアを含んでいることがあります。本契約を受け入れることによって、お客様はそのサードパーティ製ソフトウェアの追加条項や条件を受け入れることになります。

9. 一般条項

PremiumSoft 社のディーラー、代理人、あるいは従業員は、本契約に修正を要求する権利を持ちません。

PremiumSoft 社のディーラー、代理人、あるいは従業員は、本契約に修正を要求する権利を持ちません。

本契約のいずれかの条項が管轄裁判所によって法に反すると判定された場合、この条項は許容の最大範囲において施行され、本契約のその他の条項は引き続き効力を持ちます。

10. 売買の基礎

上記で説明された限定保証と免責条項、そして有限責任は、PremiumSoft 社とお客様との間の同意の基礎となる、基本要素です。PremiumSoft 社はこの上記の制限無しで経済活動として本ソフトウェアを提供することはできません。上記の限定保証と免責条項、有限責任は PremiumSoft 社のライセンス保持者の利益に役立ちます。

11. 期限

本ソフトウェアをダウンロード、インストールすることにより、ライセンス付与者は本契約の規約に合意したものとします。

このライセンスは、終了するまでは有効です。ライセンス付与者は、このライセンスのいずれかの条項に同意できなければ、即座にお客様のライセンスを終了させる権利を持っています。

「保証なし」において。ライセンス付与者は、明示的でも黙示的でも、取引の過程や商慣習から発生しても、法的にも、いかなることにおいても、PremiumSoft 社は一切の保証を負いません。

12. 準拠法

このライセンスは香港で施行されている法律に準拠しています。お客様は本契約から発生する論争を解決するために、香港の、非独占的司法権と裁判地に同意します。

お客様がこのライセンスの有効性について質問がございましたら、licensing@navicat.com にご連絡ください。お客様がその他の理由のためライセンス付与者に連絡したい場合は、support@navicat.com に連絡してください。

本ソフトウェアに含まれる PremiumSoft とその他の商標は、合衆国とその他の国で登録済みの PremiumSoft CyberTech 社の商標あるいは商標登録です。サードパーティの商標、商標名、製品名やロゴは商標、あるいは登録商標です。お客様は本ソフトウェアのいかなる商標、商標名、製品名、ロゴ、著作権、あるいはその他の著作権の注意事項、注釈、記号、ラベルを削除、あるいは変更してはいけません。本契約は、お客様が PremiumSoft 社、あるいはそのライセンス付与者の名称、あるいはそれらのトレードマークを使用する権利を認可していません。

End-User License Agreement

IMPORTANT: THIS SOFTWARE END USER LICENSE AGREEMENT ("EULA") IS A LEGAL AGREEMENT BETWEEN YOU (EITHER AN INDIVIDUAL OR, IF PURCHASED OR OTHERWISE ACQUIRED BY OR FOR AN ENTITY, AN ENTITY) AND PREMIUMSOFT CYBERTECH LTD..READ IT CAREFULLY BEFORE COMPLETING THE INSTALLATION PROCESS AND USING THE SOFTWARE. IT PROVIDES A LICENSE TO USE THE SOFTWARE AND CONTAINS WARRANTY INFORMATION AND LIABILITY DISCLAIMERS. BY INSTALLING AND USING THE SOFTWARE, YOU ARE CONFIRMING YOUR ACCEPTANCE OF THE SOFTWARE AND AGREEING TO BECOME BOUND BY THE TERMS OF THIS AGREEMENT. IF YOU DO NOT AGREE TO BE BOUND BY THESE TERMS, THEN DO NOT INSTALL THE SOFTWARE AND RETURN THE SOFTWARE TO YOUR PLACE OF PURCHASE. THIS EULA SHALL APPLY ONLY TO THE SOFTWARE SUPPLIED BY PREMIUMSOFT CYBERTECH LTD. HERewith REGARDLESS OF WHETHER OTHER SOFTWARE IS REFERRED TO OR DESCRIBED HEREIN.

1. Definitions

- a. "Non-commercial Version" means a version of the Software, so identified, for use by i) the individual who is a natural person and not a corporation, company, partnership or association or other entity or organization (ii) the individual who is a student, faculty or staff member at an educational institution, and (iii) staff of a non-profit organization or charity organization only. For purposes of this definition, "educational institution" means a public or private school, college, university and other post secondary

educational establishment. A non-profit organization is an organization whose primary objective is to support an issue or matter of private interest or public concern for non-commercial purposes.

- b. "Not For Resale (NFR) Version" means a version, so identified, of the Software to be used to review and evaluate the Software, only.
- c. "PremiumSoft" means PREMIUMSOFT CYBERTECH LTD. and its licensors, if any.
- d. "Software" means only the PremiumSoft software program(s) and third party software programs, in each case, supplied by PremiumSoft herewith, and corresponding documentation, associated media, printed materials, and online or electronic documentation.
- e. "Unregistered version", "Trial version" or "Demo version" means an unregistered copy of the SOFTWARE ("UNREGISTERED SOFTWARE") which may be used by the USER for evaluation purposes for a period of thirty (14) days following the initial installation of the UNREGISTERED SOFTWARE. At the end of the trial period ("TRIAL PERIOD"), the USER must either register the SOFTWARE or remove it from his system. The UNREGISTERED SOFTWARE may be freely copied and distributed to other users for their evaluation.
- f. "Navicat Essentials" means a version of the Software, so identified, to be used for commercial purpose.

2. License Grants

The licenses granted in this Section 2 are subject to the terms and conditions set forth in this EULA:

- a. Subject to Section 2(b), you may install and use the Software on a single computer; OR install and store the Software on a storage device, such as a network server, used only to install the Software on your other computers over an internal network, provided you have a license for each separate computer on which the Software is installed and run. Except as otherwise provided in Section 2(b), a license for the Software may not be shared, installed or used concurrently on different computers.
- b. In addition to the single copy of the Software permitted in Section 2(a), the primary user of the computer on which the Software is installed may make a second copy of the Software and install it on either a portable computer or a computer located at his or her home for his or her exclusive use, provided that:
 - A. the second copy of the Software on the portable or home computer (i) is not used at the same time as the copy of the Software on the primary computer and (ii) is used by the primary user solely as allowed for such version or edition (such as for educational use only),
 - B. the second copy of the Software is not installed or used after the time such user is no longer the primary user of the primary computer on which the Software is installed.
- c. In the event the Software is distributed along with other PremiumSoft software products as part of a suite of products (collectively, the "Studio"), the license of the Studio is licensed as a single product and none of the products in the Studio, including the Software, may be separated for installation or use on more than one computer.

- d. You may make one copy of the Software in machine-readable form solely for backup purposes. You must reproduce on any such copy all copyright notices and any other proprietary legends on the original copy of the Software. You may not sell or transfer any copy of the Software made for backup purposes.
- e. You agree that PremiumSoft may audit your use of the Software for compliance with these terms at any time, upon reasonable notice. In the event that such audit reveals any use of the Software by you other than in full compliance with the terms of this Agreement, you shall reimburse PremiumSoft for all reasonable expenses related to such audit in addition to any other liabilities you may incur as a result of such non-compliance.
- f. Your license rights under this EULA are non-exclusive.

3. License Restrictions

- a. Other than as set forth in Section 2, you may not make or distribute copies of the Software, or electronically transfer the Software from one computer to another or over a network.
- b. You may not alter, merge, modify, adapt or translate the Software, or decompile, reverse engineer, disassemble, or otherwise reduce the Software to a human-perceivable form.
- c. Unless otherwise provided herein, you may not rent, lease, or sublicense the Software.
- d. Other than with respect to a Trial / Demo Version, Non-commercial Lite Version or a Not For Resale Version of the Software, you may permanently transfer all of your rights under this EULA only as part of a sale or transfer, provided you retain no copies, you transfer all of the Software (including all component parts, the media and printed materials, any upgrades, this EULA, the serial numbers, and, if applicable, all other software products provided together with the Software), and the recipient agrees to the terms of this EULA. If the Software is an upgrade, any transfer must include all prior versions of the Software from which you are upgrading. If the copy of the Software is licensed as part of the whole Studio (as defined above), the Software shall be transferred only with and as part of the sale or transfer of the whole Studio, and not separately. You may retain no copies of the Software. You may not sell or transfer any Trial / Demo Version, Non-commercial Lite Version or Not For Resale Version of the Software.
- e. Unless otherwise provided herein, you may not modify the Software or create derivative works based upon the Software.
- f. Non-commercial Versions of the Software may not be used for, or distributed to any party for, any commercial purpose.
- g. Unless otherwise provided herein, you shall not
 - A. in the aggregate, install or use more than one copy of the Trial / Demo Version and Non-commercial Lite Version of the Software,

- B. download the Trial / Demo Version and Non-commercial Lite Version of the Software under more than one username,
 - C. alter the contents of a hard drive or computer system to enable the use of the Trial / Demo Version of the Software for an aggregate period in excess of the trial period for one license to such Trial / Demo Version,
 - D. disclose the results of software performance benchmarks obtained using the Trial / Demo Version or Non-commercial Lite Version to any third party without PremiumSoft prior written consent, or
 - E. use the Trial / Demo Version of the Software for a purpose other than the sole purpose of determining whether to purchase a license to a commercial or education version of the software; provided, however, notwithstanding the foregoing, you are strictly prohibited from installing or using the Trial / Demo Version or Non-commercial Lite Version of the Software for any commercial training purpose.
- h. You may only use the Not for Resale Version of the Software to review and evaluate the Software.
 - i. You may receive the Software in more than one medium but you shall only install or use one medium. Regardless of the number of media you receive, you may use only the medium that is appropriate for the server or computer on which the Software is to be installed.
 - j. You may receive the Software in more than one platform but you shall only install or use one platform.
 - k. You shall not use the Software to develop any application having the same primary function as the Software.
 - l. In the event that you fail to comply with this EULA, PremiumSoft may terminate the license and you must destroy all copies of the Software (with all other rights of both parties and all other provisions of this EULA surviving any such termination).
 - m. This program may include Oracle Instant Client (OCI). You agree that you shall
 - 1. not use of the Oracle Instant Client to the business operations;
 - 2. not assign, give, or transfer the Oracle Instant Client or an interest in them to another individual or entity;
 - a. make the Programs available in any manner to any third party for use in the third party's business operations; and
 - b. title to the Programs from passing to the end user or any other party;
 - 3. not reverse engineer, disassemble or decompilation the Oracle Instant Client and duplicate the Programs except for a sufficient number of copies of each Program for your licensed use and one copy of each Program media;

4. discontinue use and destroy or return to all copies of the Oracle Instant Client and documentation after termination of the Agreement;
5. not publish any results of benchmark tests run on the Programs;
6. comply fully with all relevant export laws and regulations of the United States and other applicable export and import laws to assure that neither the Oracle Instant Client, nor any direct product thereof, are exported, directly or indirectly, in violation of applicable laws;
7. allow PremiumSoft to audit your use of the Oracle Instant Client;

4. Upgrades

If this copy of the Software is an upgrade from an earlier version of the Software, it is provided to you on a license exchange basis. You agree by your installation and use of such copy of the Software to voluntarily terminate your earlier EULA and that you will not continue to use the earlier version of the Software or transfer it to another person or entity unless such transfer is pursuant to Section 3.

5. Ownership

The foregoing license gives you limited license to use the Software. PremiumSoft and its suppliers retain all rights, title and interest, including all copyright and intellectual property rights, in and to, the Software (as an independent work and as an underlying work serving as a basis for any application you may develop), and all copies thereof. All rights not specifically granted in this EULA, including Federal and International Copyrights, are reserved by PremiumSoft and its suppliers.

6. LIMITED WARRANTY AND DISCLAIMER

- a. Except with respect to Trial / Demo Version, Non-commercial Lite Version and Not For Resale Version of the Software, PremiumSoft warrants that, for a period of thirty (30) days from the date of delivery (as evidenced by a copy of your receipt): the physical media on which the Software is furnished will be free from defects in materials and workmanship under normal use. The Software is provided "as is". PremiumSoft makes no warranties, express or implied, arising from course of dealing or usage of trade, or statutory, as to any matter whatsoever.
- b. PremiumSoft provides no remedies or warranties, whether express or implied, for Trial / Demo version, Non-commercial Lite version and the Not for Resale version of the Software. Trial / Demo version, Non-commercial Lite version and the Not for Resale version of the Software are provided "as is".
- c. Except as set Forth in the foregoing limited warranty with respect to software other than Trial/ Demo version, Non-commercial Lite version and Not for Resale version, PremiumSoft and its suppliers disclaim all other warranties and representations, whether express, implied, or otherwise, including the warranties of merchantability or fitness for a particular purpose. Also, there is no warranty of non-infringement and title or quiet enjoyment. PremiumSoft does not warrant that the Software is error-free or will operate without interruption. The Software is not designed, intended or licensed for use in hazardous environments requiring fail-safe controls, including without limitation, the design,

construction, maintenance or operation of nuclear facilities, aircraft navigation or communication systems, air traffic control, and life support or weapons systems. PremiumSoft specifically disclaims any express or implied warranty of fitness for such purposes.

- d. If applicable law requires any warranties with respect to the Software, all such warranties are limited in duration to thirty (30) days from the date of delivery.
- e. No oral or written information or advice given by PremiumSoft, its dealers, distributors, agents or employees shall create a warranty or in any way increase the scope of ANY warranty PROVIDED HEREIN.

7. LIMITATION OF LIABILITY

(a) Neither PremiumSoft nor its suppliers shall be liable to you or any third party for any indirect, special, incidental, punitive or consequential damages (including, but not limited to, damages for the inability to use equipment or access data, loss of business, loss of profits, business interruption or the like), arising out of the use of, or inability to use, the Software and based on any theory of liability including breach of contract, breach of warranty,

tort (including negligence), product liability or otherwise, even if PremiumSoft or its representatives have been advised of the possibility of such damages.

8. Third Party Software

The Software may contain third party software which requires notices and/or additional terms and conditions. By accepting this EULA, you are also accepting the additional terms and conditions of the third party software.

9. General

No PremiumSoft dealer, agent or employee is authorized to make any amendment to this EULA.

This EULA contains the complete agreement between the parties with respect to the subject matter hereof, and supersedes all prior or contemporaneous agreements or understandings, whether oral or written. You agree that any varying or additional terms contained in any purchase order or other written notification or document issued by you in relation to the Software licensed hereunder shall be of no effect. The failure or delay of PremiumSoft to exercise any of its rights under this EULA or upon any breach of this EULA shall not be deemed a waiver of those rights or of the breach.

If any provision of this EULA shall be held by a court of competent jurisdiction to be contrary to law, that provision will be enforced to the maximum extent permissible, and the remaining provisions of this EULA will remain in full force and effect.

10. Basis of Bargain

The Limited Warranty and Disclaimer and Limited Liability set forth above are fundamental elements of the basis of the agreement between PremiumSoft and you. PremiumSoft would not be able to provide the Software on an economic basis without such limitations. Such Limited Warranty and Disclaimer and Limited Liability inure to the benefit of PremiumSoft's licensors.

11. Term

By downloading and/or installing this SOFTWARE, the Licensor agrees to the terms of this EULA.

This license is effective until terminated. Licensor has the right to terminate your License immediately if you fail to comply with any term of this License.

"as is". Licensor makes no warranties, express or implied, arising from course of dealing or usage of trade, or statutory, as to any matter whatsoever. In particular, any and all warranties or merchantability, fitness for a particular purpose or non-infringement of third party rights are expressly excluded.

12. Governing Law

This License will be governed by the laws in force in Hong Kong. You hereby consent to the non-exclusive jurisdiction and venue sitting in Hong Kong to resolve any disputes arising under this EULA.

Should you have any questions concerning the validity of this License, please contact: licensing@navicat.com. If you desire to contact the Licensor for any other reason, please contact support@navicat.com.

PremiumSoft and other trademarks contained in the Software are trademarks or registered trademarks of PremiumSoft CyberTech Ltd. in the United States and/or other countries. Third party trademarks, trade names, product names and logos may be the trademarks or registered trademarks of their respective owners. You may not remove or alter any trademark, trade names, product names, logo, copyright or other proprietary notices, legends, symbols or labels in the Software. This EULA does not authorize you to use PremiumSoft or its licensors names or any of their respective trademarks.

2 - 入門

必要条件

Navicat Monitor をインストールするためにサポートされているプラットフォーム

Windows

- Microsoft Windows 8、Windows 8.1、Windows 10、Server 2008、Server 2012、Server 2016、Server 2019
- 64-bit

macOS

- Mac OS X 10.10 Yosemite、Mac OS X 10.11 El Capitan、macOS 10.12 Sierra、macOS 10.13 High Sierra、 macOS 10.14 Mojave、macOS 10.15 Catalina
- 64-bit

Linux

- Red Hat Enterprise Linux 6.6 以降、CentOS 6.6 以降、Oracle Linux 6.6 以降、Fedora 20 以降、Debian 8.0 以降、SuSE Linux Enterprise 12 以降、openSUSE 42.3、Ubuntu 14.04 LTS、16.04 LTS または 18.04 LTS、Amazon Linux 2
- 64-bit

Docker

- Docker 17 以降
- 64-bit

FreeBSD

- FreeBSD 10.4 以降
- 64-bit

Navicat Monitor をインストールするためのハードウェア要件

最小ハードウェア要件

- 2 コア CPU
- 2GB RAM

推奨ハードウェア要件

- 4 コア CPU 以上
- 8GB RAM 以上
- RAID-1 ディスクミラーリング

ディスク容量の最小要件

- 4GB/opt

サポートされている Web ブラウザ

- Firefox（最新版）
- Chrome（最新版）
- Internet Explorer 11 以降
- Microsoft Edge 39 以降
- Safari 9.1.3 以降

監視のためにサポートされているサーバー

- MySQL 5.1.73 以降
- MariaDB 10.0 以降
- SQL Server 2008 R2 SP1 以降

サポートされているリポジトリデータベース

- MySQL 5.1.73 以降
- MariaDB 10.0 以降
- PostgreSQL 9.5.1 以降
- SQL Server 2008 R2 SP1 以降
- Amazon RDS インスタンス

インストール

オフラインインストール

オフラインインストールは、Amazon Linux 2 と Docker コンテナを除く、Navicat Monitor でサポートされている全てのプラットフォームで利用できます。

Windows

Windows に Navicat Monitor をインストールするためには、以下の手順に従います：

1. Navicat Monitor Windows バージョンをダウンロードします。
2. **.exe** ファイルを開きます。
3. ようこそ画面で**次**をクリックします。
4. ライセンス契約書を読みます。それを受け入れ、**次**をクリックします。
5. **次**をクリックすることにより、プログラムの場所を受け入れます。フォルダの保存先を変更したい場合は、**参照**をクリックします。
6. 残りの手順に従います。
7. インストール後、Navicat Monitor が自動的に起動します。ポップアップブラウザで[初期設定](#)を設定します。

macOS

macOS に Navicat Monitor をインストールするためには、以下の手順に従います：

1. Navicat Monitor macOS バージョンをダウンロードします。
2. **.dmg** ファイルを開きます。
3. Navicat Monitor をアプリケーションフォルダにドラッグしてインストールします。
4. インストール後、Navicat Monitor が自動的に起動します。ポップアップブラウザで[初期設定](#)を設定します。

Linux

Linux に Navicat Monitor をインストールするためには、以下の手順に従います：

1. ご使用の OS バージョンに対応した Navicat Monitor Linux バージョンインストールパッケージをダウンロードします。
2. ターミナルを開きます。以下のコマンドを root で実行します。
3. Navicat Monitor をインストールします：

OS バージョン	コマンド
----------	------

RHEL 6.6 以降、CentOS 6.6 以降、Oracle Linux 6.6 以降	yum localinstall navicatmonitor-x.y.z.rpm
RHEL 7.x、CentOS 7.x、Oracle Linux 7.x	yum localinstall navicatmonitor-x.y.z.rpm
Fedora 20 以降	yum localinstall navicatmonitor-x.y.z.rpm
Ubuntu 14.04 LTS、16.04 LTS、18.04 LTS	dpkg -i navicatmonitor
Debian 8.x、Debian 9.x	dpkg -i navicatmonitor
openSUSE 42.3、SuSE 12 以降	zypper in navicatmonitor-x.y.z.rpm

- Navicat Monitor を起動します。

```
sudo /etc/init.d/navicatmonitor start
```

- Navicat Monitor が起動したら、http://your-ip-address:3000 でブラウザから[初期設定](#)を設定できます。

FreeBSD

FreeBSD に Navicat Monitor をインストールするためには、以下の手順に従います：

- Navicat Monitor FreeBSD バージョンをダウンロードします。

- ターミナルを開きます。以下のコマンドを実行します。

- Navicat Monitor をインストールします：

```
pkg add -f navicatmonitor-1.6.0-0.txz
```

- Navicat Monitor を起動します。

```
/etc/rc.d/navicatmonitor start
```

- Navicat Monitor が起動したら、http://your-ip-address:3000 でブラウザから[初期設定](#)を設定できます。

オンラインインストール

オンラインインストールは、macOS および Linux のプラットフォームと Docker コンテナでのみ使用できます。

macOS

- [Homebrew（ホームブルー）を使用して macOS にインストールする](#)

Linux

- [Yum を使用して Red Hat Enterprise Linux 6.6、CentOS 6.6、Oracle Linux 6.6 以降にインストールする](#)
- [Yum を使用して Red Hat Enterprise Linux 7.x、CentOS 7.x、Oracle Linux 7.x にインストールする](#)
- [Yum を使用して Fedora 20 以降にインストールする](#)

- [Apt を使用して Debian 8.x または Debian 9.x にインストールする](#)
- [Apt を使用して Ubuntu 14.04 LTS、16.04 LTS、18.04 LTS にインストールする](#)
- [Yum を使用して Amazon Linux 2 にインストールする](#)
- [Zypper を使用して openSUSE 42.x または SUSE Linux Enterprise Server 12.0 以降にインストールする](#)

Docker

- [ドッカーコンテナへのインストール](#)

アップグレード

メジャーバージョンアップグレード

Navicat Monitor を最新のメジャーバージョン（例えば、1.x から 2.x）にアップグレードする前に、お使いのリポジトリデータベースをバックアップすることをお勧めします。メジャーアップグレードは元に戻せないためです。

Navicat Monitor をアップグレードするためには、以下の手順に従います：

1. **設定**に移動します。
2. **バックアップ／アップグレード／移行**をクリックします。
3. **最新のメジャーバージョンにアップグレードする**を選択します。
4. 現在の Navicat Monitor 設定をバックアップするためには、**モニタ設定 Zip をダウンロード**をクリックします。
5. [サブスクリプションプランを使用している場合はこの手順をスキップ] **無効化**をクリックして、全てのトークンキーのアクティベーションを無効にします。
6. [サブスクリプションプランを使用している場合はこの手順をスキップ] [カスタマーセンター](#)にアクセスし、最新のメジャーバージョン用の有効なトークンキーをアップグレードします。
7. 現在のバージョンをアンインストールします。
8. 最新バージョンを[ダウンロード](#)して[インストール](#)します。
9. Navicat Monitor を起動し、アカウントにログインします。

マイナーバージョンアップグレード

Windows

Windows で Navicat Monitor をアップグレードするためには、以下の手順に従います：

1. 通知領域で、 右クリックし、**更新の確認**を選択します。



2. 新しいバージョンが利用可能な場合、**インストール**をクリックします。
3. アップグレードが完了すると、Navicat Monitor が自動的に起動します。

macOS

macOS で Navicat Monitor をアップグレードするためには、以下の手順に従います：

1. メニューバーで、 をクリックして、**更新の確認**を選択します。



2. 新しいバージョンが利用可能な場合、**更新プログラムのインストール**をクリックします。
3. ダウンロードが完了したら、**インストール**をクリックします。
4. アップグレードが完了すると、Navicat Monitor が自動的に起動します。

Linux

Linux で Navicat Monitor をアップグレードするためには、以下の手順に従います：

1. ターミナルを開きます。以下のコマンドを root で実行します。

2. Navicat Monitor を停止します：

```
sudo /etc/init.d/navicatmonitor stop
```

3. Navicat Monitor を更新します：

OS バージョン	コマンド
Red Hat Enterprise Linux、CentOS、Oracle Linux、Fedora	yum clean all; yum update navicatmonitor

Ubuntu、Debian	apt-get upgrade
SUSE	zypper refresh; zypper update navicatmonitor

- Navicat Monitor を起動します。

```
sudo /etc/init.d/navicatmonitor start
```

FreeBSD

FreeBSD で Navicat Monitor をアップグレードするためには、以下の手順に従います：

- ターミナルを開きます。以下のコマンドを実行します。

- Navicat Monitor を停止します：

```
/etc/rc.d/navicatmonitor stop
```

- 古いパッケージを削除します：

```
pkg remove navicatmonitor
```

- 新しいパッケージをインストールします：

```
pkg add -f navicatmonitor-2.1.0-0.x86_64.txz
```

- Navicat Monitor を起動します。

```
/etc/rc.d/navicatmonitor start
```

初期設定

Navicat Monitor をインストールして初めて起動すると、ブラウザがポップアップされ、Navicat Monitor の URL **http://<your_ip_address>:<port_number>**を開きます。ようこそページで Navicat Monitor の基本設定を完了する必要があります。

注意：<your_host_address>は Navicat Monitor をインストールしたシステムのホスト名で、<port_number>はデフォルトで 3000 です。Linux バージョンの場合、ブラウザを開き、http://<your_ip_address>:<port_number>に手動でアクセスする必要があります。

Navicat Monitor の設定をインポートしたい場合、詳細について[移行/バックアップ](#)を参照してください。



スーパーユーザーアカウントを作成する

スーパーユーザーは、Navicat Monitor 機能に無制限にアクセスできるローカルユーザー（マネージャー）アカウントです。

1. ようこそページで、**初期設定**をクリックします。
2. スーパーユーザーのプロファイル情報を入力します：ユーザー名、パスワード、フルネーム、希望言語、メール、モバイル。

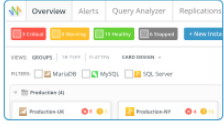
3. **次**をクリックします。

デフォルトの外観を選択

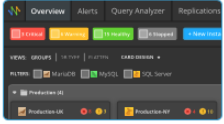
スーパーユーザーアカウントおよび他のユーザーのデフォルトの外観（明るいまたは暗い外観）を選択できます。各ユーザーは、自分の**プロフィール**ページからいつでも自分の設定を編集できます。

初期設定
表示

あなたとチームメイトのデフォルトの表示を選択します。
すべてのユーザーは、プロフィールページでいつでもそれを編集できます。



ライトモード



ダークモード

戻る

次

リポジトリデータベースの設定

リポジトリデータベースには、履歴分析のためのアラートとパフォーマンスメトリックデータが保存されます。リポジトリデータベースは、MySQL データベース、MariaDB データベース、PostgreSQL データベース、SQL Server データベース、または Amazon RDS インスタンスのいずれかです。リポジトリデータベースを、監視予定のインスタンスまたは実稼働データベースに設定することはお勧めしません。

注意：マネージャーは、初期設定後いつでもリポジトリデータベースを変更できます。詳細については、[リポジトリデータベース](#)を参照してください。

- リポジトリデータベースの**データベースの種類**を選択します。
- 接続情報を入力して、リポジトリデータベースに接続します。

ホスト名	データベースサーバーのホスト名または IP アドレス。
ポート	データベースサーバーに接続するための TCP/IP ポート。
サインイン方法	〔SQL Server〕 認証方法：SQL Server 認証または Windows 認証。
データベース名	リポジトリデータベースの名前。リポジトリデータベースは、空の既存のデータベース、または Navicat Monitor によって作成された新しいデータベースのいずれかです。
ユーザ名	データベースサーバーに接続するためのユーザー名。ユーザーアカウントには、次の権限が必要です： MySQL/MariaDB - 全てのデータベースオブジェクトに対する SELECT、INSERT、UPDATE、DELETE、CREATE、DROP、INDEX、ALTER、CREATE TEMPORARY TABLES、CREATE VIEW PostgreSQL - ログインできる、データベースとスーパーユーザーを作成できる SQL Server - CREATE、UPDATE、SELECT、DELETE
パスワード	データベースサーバーに接続するためのパスワード。

初期設定

リポジトリデータベース

データベースの種類 ?

MySQL

データベース名 *

monitor

ホスト名 *

192.168.2.81

ユーザー名 *

root

ポート *

3380

パスワード

.....

< 戻る

接続テスト

次 >

3. 次をクリックします。

アプリケーション情報を設定する

1. 必要に応じてアプリケーション情報を編集します。

ポート	Navicat Monitor がリッスンするポート番号。
Web-URL	アラートメールで使用する Navicat Monitor のウェブサイト URL。
IP アドレス	マシンに複数の IP アドレスが割り当てられている場合、ユーザーが Navicat Monitor にアクセスするための IP アドレスを指定できます。 0.0.0.0 は、マシン上の全ての IPv4 アドレスを意味します。 :: は、マシン上の全ての IPv4 アドレスと IPv6 アドレスを意味します。

初期設定

アプリケーション

ホスト名

Admin-iMac.local

IPアドレス ?

0.0.0.0

ポート *

3000

IPv6

有効

WEB URL *

http://admin-imac.local:3000

DNSサーバ

192.168.1.1

< 戻る

接続テスト

次 >

2. 次をクリックします。

設定を確認する

設定情報を確認し、**完了**をクリックします。リポジトリデータベースの設定については、初期設定プロセスに数分かかる場合があります。

初期設定
確認

スーパーユーザ	リポジトリデータベース	アプリケーション
ユーザ名 admin	データベースの種類 MySQL	ポート 3000
フルネーム Mary Brown	ホスト名 192.168.2.82	WEB URL http://admin-imac.local:3000
メール marybrown@xxx.com	ポート 3380	IPアドレス 0.0.0.0
モバイル 12345678	データベース名 monitor	
パスワード *****	ユーザ名 root	
	パスワード *****	

< 戻る

完了 >

Navicat Monitor にログインする

設定が正常に完了すると、ログインページが表示され、マネージャーユーザーアカウントで Navicat Monitor にログインできます。

言語: 日本語 ▼

ようこそ、お帰りなさい！
Navicat Monitor 2.0

ユーザ名
admin

パスワード

☒ ログイン状態を保持する

サインイン

ユーザーインターフェース

メインツールバー



① ナビゲーションメニュー

ナビゲーションメニューを使用すると、概要、アラート、クエリアナライザ、レプリケーション、設定などの基本機能にアクセスできます。

② ベルアイコン

アップグレードが利用可能な場合、ベルアイコンの隣のドットが、表示する通知があることを示します。ベルアイコンをクリックして通知を表示します。

③ ユーザーメニュー

ユーザーメニューを使用すると、自分のプロフィールページを開いたり、明るいまは暗い外観を選択したり、UI 言語を変更したり、現在のユーザーのセッションからログアウトしたりできます。十分な権限がある場合、アクティベーションページを開くことができます。



④ 選択されたインスタンス

左側のインスタンスペインで選択されたインスタンスが表示されます。それをクリックして、インスタンスペインを表示または非表示にします。

⑤ ロケーションブレッドクラム

ロケーションブレッドクラムは、現在のページの位置を示します。レベルをクリックして、そのページにジャンプします。

Navicat Monitor アプリケーション

Navicat Monitor アプリケーションは、Navicat Monitor へのクイックアクセスを提供し、Navicat Monitor サービスのステータス情報を表示し、変更や更新を通知する小さなユーティリティです。Windows バージョンと macOS バージョンでのみ使用可能です。



ステータス	Navicat Monitor サービスの現在のステータス。
開始／停止	Navicat Monitor サービスを開始または停止します。
自動スタート	コンピューターの電源を入れた時に Navicat Monitor サービスを自動的に開始し、コンピューターにログインした時に Navicat Monitor アプリケーションを起動します。
Navicat Monitor を開く	ブラウザで Navicat Monitor を起動します。
更新の確認	アップデートを確認し、最新バージョンがある場合はそれをインストールするよう

	に促します。
Navicat Monitor について／ について	Navicat Monitor のバージョン番号を表示します。
ヘルプ	ユーザーマニュアルを開きます。
終了する	Navicat Monitor アプリケーションを終了します。Navicat Monitor サービスは停止しません。

インスタンスを作成

初期設定が完了し、Navicat Monitor にログインしたら、監視したいインスタンスを作成できます。Navicat Monitor は、エージェントレスアーキテクチャを使用してデータベースサーバーを監視し、定期的にデータを収集します。監視対象のサーバーにエージェントソフトウェアをインストールする必要はありません。

+ **新しいインスタンス**をクリックしサーバーの種類を選択することにより、次のページで新しいインスタンスを作成できます。

- [概要](#)
- [設定](#)

新しいインスタンスウィンドウで、**インスタンス名**にインスタンスを最もよく表すわかりやすい名前を入力し、インスタンスの**グループ**を選択します。新しいグループを追加したい場合、**新グループ**をクリックします。次に、サーバーに接続するための以下の情報を入力します。

新しいMySQLインスタンス

インスタンス名 *

JP Production Server 1

グループ

Production

+ 新グループ

Navicat Monitor

1

ゲートウェイ

2

3

データベース

ゲートウェイサーバーに接続する

Navicat Monitor は、安全な SSH トンネルを介してデータベースサーバーに接続し、監視データを送受信できます。リモート接続が無効になっている、または、ファイアウォールによってブロックされている場合でも、サーバーに接続できます。

1. **ゲートウェイサーバー**セクションで、**SSH トンネルを介してゲートウェイサーバに接続**を有効にします。
2. 次の情報を入力します：

ホスト名	SSH サーバーのホスト名。
ポート	SSH サーバーがアクティブ化されるポート。デフォルトは 22 です。
ユーザ名	SSH サーバマシン上のユーザー。（データベースサーバーのユーザーではありません。）
認証方法	SSH 認証方式：パスワードまたは公開鍵。

パスワード	[パスワード認証] ログイン SSH サーバーのパスワード。
プライベートキー	[公開鍵認証] 公開鍵と共に使用されます。 注意： SSH/SSL 証明書 にプライベートキーを追加できます。
パスフレーズ	[公開鍵認証] パスフレーズは、アカウントではなく生成するキーに適用されることを除いて、パスワードとまったく同じです。

インスタンス接続の詳細を入力する

1. **MySQL Server**、**MariaDB Server**、または、**SQL Server** セクションで、次の情報を入力します。

ホスト名/終点	データベースサーバーのホスト名または IP アドレス。/Amazon Web Services インスタンスに接続するためのエンドポイント。
ポート	データベースサーバーに接続するための TCP/IP ポート。
認証	[SQL Server] 認証方法：SQL Server 認証または Windows 認証。
ユーザー名	データベースサーバーに接続するための監視ユーザー。監視対象インスタンスに負荷をかけない、監視ユーザー用の別のアカウントを作成することをお勧めします。 MySQL/MariaDB - 監視ユーザーには、全てのデータベースオブジェクトに対する REPLICATION CLIENT、SUPER、PROCESS、SELECT、および、INDEX を付与する必要があります。 SQL Server - 監視ユーザーには、VIEW SERVER STATE、VIEW DATABASE STATE、SELECT、および、sysadmin サーバーロールのメンバーシップを付与する必要があります。
パスワード	監視ユーザーのログインパスワード。
サーバの種類	[MySQL/MariaDB] サーバーのタイプ：Unix 系または Windows。
SSL 認証を使用する	[MySQL/MariaDB] Secure Sockets Layer (SSL) 証明書の使用を有効にします。
SSL 証明書	[MySQL/MariaDB] 暗号化された接続を確立するための SSL 証明書。 注意： SSH/SSL 証明書 に SSL 証明書を追加できます。
データベース	[Azure SQL データベース] 監視したいデータベース。

2. **新規**をクリックします。

SSH/SNMP にログインしてシステムメトリックにアクセスする

Navicat Monitor は、SSH/SNMP を介して動作し、CPU やメモリリソースなどのサーバーのシステムパフォーマンスメトリックにアクセスし収集します。ユーザーがこのログインを提供しない場合でも、システムパフォーマンスメトリックを表示せずにサーバーを監視できます。

注意： MySQL/MariaDB のみ使用可能です。

Unix 系のサーバー

1. **CPU&メモリ**セクションで **SSH からログインして CPU&メモリのデータにアクセスする**を有効にします。

2. 次の情報を入力します：

ポート	SSH サーバーがアクティブ化されるポート。デフォルトは 22 です。
ユーザ名	SSH サーバーマシン上のユーザー。（データベースサーバーのユーザーではありません。）
認証方法	SSH 認証方式：パスワードまたは公開鍵。
パスワード	[パスワード認証] ログイン SSH サーバーのパスワード。
プライベートキー	[公開鍵認証] 公開鍵と共に使用されます。 注意： SSH/SSL 証明書 にプライベートキーを追加できます。
パスフレーズ	[公開鍵認証] パスフレーズは、アカウントではなく生成するキーに適用されることを除いて、パスワードとまったく同じです。

3. **新規**をクリックします。

Windows タイプのサーバー

1. **CPU&メモリ**セクションで **SSH からログインして CPU&メモリのデータにアクセスする**を有効にします。
2. 次の情報を入力します：

コミュニティ	サーバーに割り当てられている認証用の SNMP コミュニティストリング（パスワードとして機能）。
--------	--

3. **新規**をクリックします。

注意： ゲートウェイを使用して Windows タイプのサーバーに接続する時、Navicat Monitor はシステムメトリックにアクセスできません。

3 - 設定

アクティベーション

インスタンスの試用期間が終了すると、Navicat Monitor はそのインスタンスの監視を続けるためにトークンを要求します。トークンは、永久ライセンスとして購入するか、サブスクリプションベースで購入できます。トークンを管理してインスタンスにライセンスを付与するためには、**設定** -> **トークンの有効化とインスタンスへのライセンス付与**に移動します。

注意： 永久ライセンスとサブスクリプションプランを同じ Navicat Monitor で使用することはできません。アクティベーション方法を変更する前に、トークンキーを無効にするか、Navicat ID からサインアウトする必要があります。

永久ライセンス

永久ライセンスを購入した場合、Navicat Monitor で購入したトークンをアクティベーションするためのトークンキーを受け取ります。

永久プランセクションで、トークンキーを**トークンキー番号の入力**テキストボックスに貼り付け、**有効化**ボタンをクリックします。Navicat Monitor は、ライセンスサーバーに接続してトークンキーを有効化します。アクティベーションプロセスが成功すると、トークンキーの詳細が表示されます。

オフラインアクティベーション

オフラインアクティベーションは、コンピューターがインターネットに接続されていない場合に使用できます。このアクティベーションプロセスを完了するためには、インターネット接続が可能な別のコンピューターが必要です。

1. インターネット接続なしダイアログで、**オフラインアクティベーション**をクリックします。
2. **リクエストコードをここにコピーする**：ボックスにリクエストコードをコピーします。
3. インターネットに接続されているコンピューターで Web ブラウザを開き、https://customer.navicat.com/jp/manual_activate.php にアクセスします。
4. 左側のボックスにリクエストコードを貼り付け／入力します。
5. **アクティベーションコードを生成する**をクリックします。
6. 生成されたアクティベーションコードを右側のボックスにコピーします。
7. Navicat Monitor を有効化しているコンピューターに戻ります。
8. **ここにアクティベーションコードを貼り付けて下さい**：ボックスにアクティベーションコードを貼り付けます。
9. **有効化**をクリックします。

トークンキーを無効化

#ローカル有効トークンセクションで、無効化したいトークンキーの横にある**無効化**ボタンをクリックします。 Navicat Monitor はライセンスサーバーに連絡してトークンキーを無効にします。無効化プロセスが成功すると、トークンキーの詳細がリストから削除されます。

トークンキーを無効化するために十分な使用可能トークンがない場合、インスタンスのライセンスを解除して一部のトークンを解放する必要がある可能性があります。そうでない場合、**無効化**ボタンは有効になりません。

サブスクリプションプラン

プランを購読している場合、Navicat ID にサインインして、サブスクリプション期間中はトークンを使用できます。

注意： Navicat ID は、サブスクリプションプランの申込に使用したメールアドレスです。

サブスクリプションプランセクションで、**NAVICAT ID** と**パスワード**を入力します。サインインすると、サブスクリプションプランの詳細が表示されます。

Navicat Monitor は、デフォルトで 1 時間に 1 回、ライセンスサーバーに接続してプランを自動的に再読み込みします。ポータルサイトでプランを更新した場合、**プランの再読み込み**ボタンを使用して、新しいプランを強制的に再読み込みできます。

注意： 各 Navicat ID は、1 つの Navicat Monitor にのみ接続できます。別の Navicat モニターで Navicat ID にサインインすると、現在の Navicat Monitor からサインアウトされ、全てのインスタンスのライセンスが自動的に解除されます。

トークンを割り当てる

#のうち#のトークンが利用可能ですセクションでは、ライセンスのないインスタンスが全て**非ライセンスインスタンス**リストに表示され、ライセンスのある全てのインスタンスが**ライセンスインスタンス**リストに表示されます。使用可能なトークンをライセンスのないインスタンスに割り当てることができます。ライセンスのないインスタンスを選択して、**ライセンス** > ボタンをクリックします。他のインスタンスにライセンスを付与するためにトークンを解放したい場合は、ライセンスが付与されたインスタンスを選択して、< **ライセンス解除** ボタンをクリックします。



注意： 試用期間が終了すると、Navicat Monitor はライセンスのない全てのインスタンスからのデータの監視と収集を停止し、それらに関してアラートを生成しません。

バックアップ／移行

Navicat Monitor 設定のエクスポートは、アプリケーションサーバーの移行またはバックアップの目的で役立ちます。エクスポートされた zip ファイルには、トークンキー、インスタンス設定、リポジトリデータベース設定、および、復元に必要な全てのファイルが含まれています。Navicat Monitor 設定をバックアップするためには、**設定 -> バックアップ／アップグレード／移行**に移動します。

注意：同じメジャーリリースおよびマイナーリリース内で設定のみを移行できます。例えば、Navicat Monitor v1.1.x は、v1.1.y zip ファイルのみを受け入れます。

Navicat Monitor 設定をバックアップする

1. **バックアップのみ**を選択します。
2. 現在の Navicat Monitor 設定をバックアップするためには、**モニタ設定 Zip をダウンロード**をクリックします。

Navicat Monitor を別のサーバーに移行する

1. **別のモニターサーバに移行する**を選択します。
2. 現在の Navicat Monitor 設定をバックアップするためには、**モニタ設定 Zip をダウンロード**をクリックします。
3. [サブスクリプションプランを使用している場合はこの手順をスキップ] **無効化**をクリックして、全てのトークンキーを無効化します。
4. 新しいサーバーに移動し、Navicat Monitor をインストールします。
5. 新しいサーバーで Navicat Monitor を起動して開きます。
6. **初期設定**で、**モニタ設定のインポート**をクリックします。
7. zip ファイルをドロップまたは参照してアップロードします。
8. 設定がインポートされたら、**続行する**をクリックします。
9. 必要に応じて、リポジトリデータベースの設定を変更します。
10. **モニタ設定を復元**をクリックします。
11. 復元が成功した場合、**続行する**をクリックします。
12. [サブスクリプションプランを使用している場合はこの手順をスキップ] 全ての既存のトークンが一覧表示されます。それらを今すぐ有効化する場合は、**有効化**をクリックします。次に、**続行する**をクリックします。
13. 有効化されたトークンを割り当てて、既存のインスタンスにライセンスを付与します。
14. **完了**をクリックします。

アプリケーション

アプリケーション設定を設定

Navicat Monitor のアプリケーション設定（ポート、Web URL、IP アドレスなど）を表示または変更できます。アプリケーション設定を設定するためには、**設定** -> **アプリケーション設定**に移動します。

Navicat Monitor のアプリケーション設定が一覧表示されます。次の設定を編集できます：

ポート	Navicat Monitor がリッスンするポート番号。
WEB URL	アラートメールで使用される Navicat Monitor のウェブサイト URL。
IP アドレス	マシンに複数の IP アドレスが割り当てられている場合、ユーザーが Navicat Monitor にアクセスするための IP アドレスを指定できます。 0.0.0.0 は、マシン上の全ての IPv4 アドレスを意味します。::は マシン上の全ての IPv4 アドレスと IPv6 アドレスを意味します。

注意： 上記の設定を変更したら、Navicat Monitor サービスを再起動して変更を有効にする必要があります。

日付と時刻を設定

Navicat Monitor の日付と時刻の設定を表示または変更できます。その設定を設定するためには、**設定** -> **日付と時刻**に移動します。

Navicat Monitor の日付と時刻の情報が一覧表示されます。**24 時間時計を使用する**を有効にして、24 時間制を使用できます。

ログハウスキーピングを設定

Navicat Monitor は、サーバーで発生した問題を追跡するための詳細なサーバーエラーとメッセージを記録します。その設定を設定するためには、**設定** -> **ログハウスキーピング**に移動します。

各ビルドの最大サイズと保存するビルドの最大数の両方を指定することにより、ログのビルド保持ポリシーを制御できます。

ユーザーとロール

ユーザーを管理

Navicat Monitor は、ローカルユーザーの作成、または、LDAP 認証または AD 認証を使用した外部ユーザーの作成を許可します。ユーザーを設定するためには、**設定** -> **ユーザー**に移動します。

注意： [初期設定](#)中に作成されたマネージャーユーザーアカウントは、LDAP または AD ユーザーに変更できません。

ヒント： 右上隅にあるユーザーアイコンをクリックして**私のプロフィール**を選択すると、自分のプロフィールを表示または編集できます。

新しいユーザーを作成する

左側のペインで **+ 新しいユーザの作成**をクリックすると、新しいユーザーを作成できます。

ローカルユーザーを作成するためには

1. **ローカルユーザ**タブを選択します。
2. **ユーザ名**と**名前**を入力します。
3. 新しいユーザーに**ロール（役割）**を割り当てます。
4. **パスワード**を入力し、**パスワードの確認**をします。
5. ▶ アイコンをクリックして、ユーザーのメールアドレスと電話番号を入力します。
6. 別の新しいユーザーを追加するためには、手順 2～5 を繰り返します。
7. **ユーザの作成**をクリックします。

LDAP ユーザーを作成するためには

1. **LDAP ユーザ**タブを選択します。
2. **LDAP ユーザ名**と**名前**を入力します。
3. 新しいユーザーに**ロール（役割）**を割り当てます。
4. ▶ アイコンをクリックして、ユーザーのメールアドレスと電話番号を入力します。
5. 別の新しいユーザーを追加するためには、手順 2～4 を繰り返します。
6. **ユーザの作成**をクリックします。

ヒント：LDAP 設定を行うためには、[LDAP／AD 設定](#)に移動します。

AD ユーザーを作成するためには

1. **AD ユーザ**タブを選択します。
2. **AD ユーザ名**と**名前**を入力します。
3. 新しいユーザーに**ロール（役割）**を割り当てます。
4. ▶ アイコンをクリックして、ユーザーのメールアドレスと電話番号を入力します。
5. 別の新しいユーザーを追加するためには、手順 2～4 を繰り返します。
6. **ユーザの作成**をクリックします。

ヒント：Microsoft AD 設定を行うためには、[LDAP／AD 設定](#)に移動します。

既存のユーザーを管理する

ユーザーを編集するためには

1. 左側のペインで、ユーザーを選択します。
2. ユーザープロフィールを変更したり、UI 言語を変更したり、明るいまたは暗い外観を選択します。
3. **プロフィールの更新**をクリックします。

ユーザーを削除するためには

1. 左側のペインで、ユーザーにカーソルを合わせます。
2.  アイコンをクリックし、**ユーザの削除**を選択します。

ロールと権限を管理

ロールは、ユーザーが割り当てられている権限の集まりです。デフォルトでは、Navicat Monitor には、アクセスを制限するために異なるユーザーに割り当てるための 3 つの事前定義されたロールが含まれています。また、権限設定をカスタマイズして新しいロールを作成することもできます。ロールとその権限を設定するためには、**設定 -> ロールと権限**に移動します。

事前定義された各ロールには、異なる権限があります。

ロール	権限
マネージャー	フルコントロールで全てのページにアクセスできます。このロールの権限は編集できません。
DBA	次の機能を 除く 全てのページにアクセスできます。 - トークンキーの有効化、インスタンスにライセンスを付与する／ライセンスを解除する - 一般設定の編集、リポジトリデータベース、データ消去 - 全てのログファイルの取得 - アラート通知設定の編集 - ユーザーのプロファイル、ロール、権限の追加／削除／編集
オペレータ	次の機能を 除く 全てのページにアクセスできます。 - グループメンバーへのアラートの割り当て - クエリアナライザのプロセスの終了 - 全ての設定変更

IP アドレス制限を設定する

管理者として、ロールレベルでログインアクセスを制限して、ユーザーが許可されていない場所から Navicat Monitor にログインできないようにすることができます。ロールに IP アドレス制限が定義されている場合、制限はそのロールに属する全てのユーザーに影響します。ロールを制限するために IP アドレスの範囲または単一の IP アドレスを設定するためには：

1. 左側のペインで、ロールを選択します。

2. **IP アドレスの制限**セクションで、**+ 範囲を追加**をクリックします。
3. IP アドレスの**タイプ**を選択します：IPv4／IPv6。
4. **サブネット**を入力します。
5. **保存**をクリックします。

新しいロールを作成する

ユーザーのアクセス制御の必要性に合わせて新しいロールを作成することも可能です。その必要性に基づき、特定の境界内でタスクを実行する権限をユーザーに与えるために、目的のユーザーに割り当てることができるカスタマイズされたロールを作成できます。

1. 左側のペインで、**+ 新しくカスタマイズされたロール**をクリックします。
2. **ロール（役割）名**を入力します。
3. IP アドレスの範囲からの新しいロールのアクセスを制限したい場合は、**IP アドレスの制限**セクションで、**+ 範囲を追加**をクリックします。
4. **権限**セクションで、ロールに付与したい権限をオンにします。
5. **保存**をクリックします。

既存のロールを管理する

ロールを編集するためには

1. 左側のペインで、ロールを選択します。
2. ロールの設定を変更します：ロール名（カスタマイズされたロールの場合のみ）、IP アドレスの制限の設定、または、権限。
3. **保存**をクリックします。

ロールを複製するためには

1. 左側のペインで、ロールにカーソルを合わせます。
2.  アイコンをクリックし、**複製**を選択します。
3. 新しく作成されたロールの名前は、**ロール名 Copy** です。

カスタマイズされたロールを削除するためには

1. 左側のペインで、ロールにカーソルを合わせます。
2.  アイコンをクリックし、**削除**を選択します。

LDAP／AD 設定を設定

外部でホストされている LDAP サーバーを介してユーザーを認証するか、Microsoft Active Directory (AD) 認証情報を使用してユーザーを認証するように Navicat Monitor を設定できます。LDAP／AD 設定を設定するためには、**設定 -> LDAP／AD 設定**に移動します。

LDAP 設定

LDAP 認証を使用するためには、次の情報を設定します。

LDAP サーバのホスト名	LDAP サーバーのホスト名、IP アドレス、または、URL を入力します。
暗号化	LDAP サーバーと通信するための暗号化方式を選択します。
ポート	LDAP サーバーに接続するためのポートを入力します。
LDAP サーバの匿名バインド許可	LDAP サーバーで匿名バインドが許可されている場合、このオプションをオンにします。
ユーザ検索ベース	ユーザーを検索するための検索ベースフィルタを入力します。（例：ユーザーが“domain.com”にある場合 検索ベースフィルタは dc=domain,dc=com になります）
ユーザ DN	匿名バインドが許可されていない場合、LDAP サーバーにバインドするユーザー識別名を入力します。（例：ユーザー名が admin の場合、ユーザー DN は cn=admin,dc=domain,dc=com になります）
パスワード	指定された ユーザ DN のパスワードを入力します。
テスト設定	このボタンをクリックして、Navicat Monitor と LDAP サーバー間の接続をテストします。
認証モード	LDAP サーバーでユーザーを認証するために使用する認証モードを選択します。
【比較認証】パスワード属性名	パスワードベースの認証メカニズム名を含む属性名を入力します。
【比較認証】パスワードダイジェスト構造	パスワードベースの認証メカニズムを選択します。
ユーザ検索属性	ユーザーのログイン名を含む属性名を入力します。

Microsoft AD 設定

Active Directory 認証を使用するためには、次の情報を設定します：

AD サーバホスト名	AD サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。
ユーザ検索ベース	ユーザーを検索するための検索ベースフィルタを入力します。（例：ユーザーが“domain.com”にある場合 検索ベースフィルタは dc=domain,dc=com になります）
ユーザ DN	匿名バインドが許可されていない場合 AD サーバーにバインドするユーザー識別名を入力します。（例：ユーザー名が admin の場合、ユーザー DN は cn=admin,dc=domain,dc=com になります）
パスワード	指定された ユーザ DN のパスワードを入力します。
テスト設定	このボタンをクリックして、Navicat Monitor と AD サーバー間の接続をテストします。

セキュリティ設定を設定

セキュリティ設定を設定するためには、**設定** -> **セキュリティ**に移動します。

ユーザーパスワードの複雑さの要件を変更してパスワードの強度を高め、全ての他のユーザーセッションを強制的にログアウトさせることができます。

Navicat Monitor とクライアント間で暗号化された接続（HTTPS セッション）を使用したい場合、SSL/TLS プロトコルを使用するように Navicat Monitor を設定できます。+ **証明書の追加**をクリックし、次の情報を設定します：

名前	証明書の名前を入力します。
証明書	証明書ファイルの内容を貼り付けます。
プライベートキー	プライベートキーファイルの内容を貼り付けます。
証明書チェーン	証明書チェーンファイルの内容を貼り付けます。

インスタンスとグループ

インスタンスとグループを管理

Navicat Monitor は複数のサーバーを監視できます。インスタンスを作成したり、インスタンスをグループに分類したり、メンバーを割り当てることができます。インスタンスとグループを設定するためには、**設定** -> **全てのインスタンス**に移動します。

サーバーを監視する新しいインスタンスを作成するためには + **新しいインスタンス**をクリックし、サーバーの種類を選択します。次に、新しいインスタンスウィンドウに適切な情報を入力します。詳細については、[インスタンスを作成](#)をご覧ください。

インスタンスを管理する

インスタンスを編集するためには

1. インスタンスを選択します。
2. **インスタンスの編集**をクリックします。
3. インスタンス設定を変更します。
4. **保存**をクリックします。

ヒント：インスタンスのグループを変更するためには、選択したインスタンスをグループから別のグループにドラッグアンドドロップするだけです。

インスタンスの監視を一時停止するためには

1. インスタンスを選択します。
2. **他のアクション**をクリックして、**監視を一時停止**を選択します。

インスタンスのグループを変更するためには

1. 左ペインのグループにインスタンスをドラッグアンドドロップします。

インスタンスを削除するためには

1. 削除したいインスタンスを選択します。
2. **他のアクション**をクリックして、**インスタンスを削除**を選択します。

ヒント：複数のインスタンスの削除がサポートされています。

グループとメンバーを管理する

グループを使用すると、インスタンスをコレクションに編成できます。各グループは、インスタンスにすばやくフィルタをかけるために、概要ページにタブラベルとして表示されます。ユーザーを特定のグループにメンバーとして割り当てることもできます。アラート通知が設定されている場合、Navicat Monitor は、アラートが発生するとすぐに、グループ内の全てのメンバーに通知を送信します。

全てのグループが左側のペインに表示され、選択されたグループのメンバーが右側のペインに表示されます。

新しいグループを作成するためには

1. **+ 新グループ**をクリックします。
2. 新しいグループの名前を入力します。
3. **新規**をクリックします。

グループの名前を変更するためには

1. 左側のペインで、グループにカーソルを合わせます。
2.  アイコンをクリックし、**グループ名の変更**を選択します。
3. 新しいグループ名を入力します。
4. **名前の変更**をクリックします。

グループにメンバーを追加するためには

1. 左側のペインで、グループにカーソルを合わせます。
2.  アイコンをクリックし、**メンバーをグループに追加**を選択します。
3. ユーザーの名前またはユーザー名を入力します。
4. **グループに追加**をクリックします。

グループからメンバーを削除するためには

1. 左側のペインで、グループにカーソルを合わせます。

2.  アイコンをクリックし、**メンバーをグループに追加**を選択します。
3. 削除したいメンバーの横にある  アイコンをクリックし、**グループから削除**を選択します。

グループを削除するためには

1. 左側のペインで、グループにカーソルを合わせます。
2.  アイコンをクリックし、**削除**を選択します。

メンテナンスウィンドウを設定

サーバーのメンテナンス作業を定期的に行う必要がある場合、メンテナンス中に監視を一時停止し、Navicat Monitor からのアラートの受信を停止することができます。Navicat Monitor は、メンテナンスウィンドウの期間を設定して、選択されたインスタンスの監視を無効にする機能を提供します。その期間中、アラートは発生せず、通知は送信されません。インスタンスのメンテナンスウィンドウを設定するためには、**設定** -> **全てのインスタンス**に移動します。

注意：個々のインスタンスの監視を手動で一時停止することも可能です。[インスタンスの監視を一時停止するためには](#)を参照してください。

メンテナンスウィンドウを設定するためには

1. メンテナンスウィンドウを設定するためには
2. **メンテナンスウィンドウ列のメンテナンスウィンドウの設定**ボタンをクリックします。
3. メンテナンスウィンドウを開始したい日付と時刻、その期間と繰り返しパターンを入力／選択します。

メンテナンス日時の設定

×

開始日時

 2020-04-09

 16:07

持続時間

1

↑

時間

0

↑

分

再発

☐ 無し ☐ 毎日 ☒ 毎週 ☐ 毎月

毎回繰り返す

1

 の週

☒ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☒ 金 ☐ 土 ☐ 日

キャンセル

保存

4. **保存**をクリックします。

ヒント：他のアクションをクリックし、**メンテナンスウィンドウの設定**を選択して、選択された全てのインスタンスのメンテナンスウィンドウを設定します。

メンテナンスウィンドウを編集するためには

1. メンテナンスウィンドウを設定するためには
2. **メンテナンスウィンドウ列の編集**ボタンをクリックします。
3. 期間を変更します。
4. **保存**をクリックします。

メンテナンスウィンドウを削除するためには

1. メンテナンスウィンドウを設定するためには
2. **メンテナンスウィンドウ列の削除**ボタンをクリックします。

ヒント：他のアクションをクリックし、**メンテナンスウィンドウの削除**を選択して、選択された全てのインスタンスのメンテナンスウィンドウを削除します。

SSH／SSL 証明書を追加

インスタンスに接続するための SSH／SSL 証明書を追加できます。SSH／SSL 証明書を設定するためには、**設定 -> SSH／SSL 証明書**に移動します。

SSH 証明書を追加する

新しい証明書を作成するためには、**+** **新しい証明書**をクリックし、**SSH 証明書**を選択します。

名前	SSH 証明書の名前。
プライベートキー	プライベートキーファイルの内容を貼り付けます。

SSL 証明書を追加する

新しい証明書を作成するためには、**+** **新しい証明書**をクリックし、**SSL 証明書**を選択します。

名前	SSL 証明書の名前。
CA 証明書	信頼できる SSL 証明機関を貼り付けます。
クライアントキー	SSL キーファイルの内容を貼り付けます。
クライアント証明書	SSL 証明書ファイルの内容を貼り付けます。
CA に対してサーバー証明書を検証する	サーバーがクライアントに送信する証明書のサーバーの共通名の値を確認できるようにします。
指定された暗号	SSL 暗号化に使用するための許容される暗号を選択します。

証明書を管理する

証明書を削除するためには

1. 削除したい証明書を選択します。

2. 証明書を削除をクリックします。

ヒント：複数の証明書の削除がサポートされています。

長時間実行クエリポリシー

スロークエリの条件を編集し、長時間実行クエリチャートからクエリを除外できます。長時間実行クエリポリシー設定を設定するためには、**設定** -> **長時間実行クエリポリシー**に移動します。

スロークエリ条件セクションでは、指定した期間よりも長い 1 時間当たりの平均待機時間を持つクエリを表示するように設定できます。

長時間実行クエリチャートから除外されたクエリは、**長時間実行クエリチャートから除外されたクエリ**テーブルに一覧表示されます。除外リストからクエリを削除するためには、クエリの横にある**保存**をクリックします。

アラート

アラートポリシーの調整

監視対象のメトリック値が特定の期間、指定されたしきい値を超えると、アラートがトリガーされます。アラートを有効または無効にしたり、しきい値を変更したり、設定を継承したりできます。アラートポリシーを設定するためには、**設定** -> **アラートポリシー**に移動します。

アラートタイプテーブルには、使用可能な全てのアラートとその詳細が表示されます。アラートには、システム、セキュリティ、パフォーマンスの 3 つのタイプがあります。

☐ ▶ アラートタイプ	継承元	有効	しきい値	通知と受信者
☐ ▼ システムアラート				
☐ CPU使用率	親	✓	> 90 % > 70 % ⌚ 5m	メール, SNMP, SMS, スラック 全てのユーザ
☐ 最大許容バケット	親	✓	< 32 MB ⌚ 0m	メール, SNMP, SMS, スラック 全てのユーザ
☐ メモリ使用量	親	✓	> 90 % > 70 % ⌚ 5m	メール, SNMP, SMS, スラック 全てのユーザ
☐ MySQLレプリケーションの可用性	親	✗	クリティカル ⌚ 0m	メール, SNMP, SMS, スラック 全てのユーザ
☐ MySQLサーバの可用性	親	✓	クリティカル ⌚ 0m	メール, SNMP, SMS, スラック 全てのユーザ
☐ MySQLサーバの再起動	親	✓	クリティカル ⌚ 0m	メール, SNMP, SMS, スラック 全てのユーザ
☐ スワップスペース使用量	親	✓	> 90 % > 70 % ⌚ 5m	メール, SNMP, SMS, スラック 全てのユーザ
☐ ▶ セキュリティ警告				
☐ ▼ ロックアラート				
☐ InnoDBデッドロック検出	親	✓	クリティカル ⌚ 0m	メール, SNMP, SMS, スラック 全てのユーザ
☐ 待機が必要なテーブルロック	親	✓	> 5 % ⌚ 5m	メール, SNMP, SMS, スラック 全てのユーザ

継承設定を変更する

デフォルトでは、アラートポリシーページを開くと、全てのインスタンスレベルになっています。左側のペインでレベルを選択して、そのアラートポリシー設定を表示できます。選択されたレベルでカスタマイズされたアラートは、**継承元**列で**このレベル**としてマークされます。

継承設定をカスタマイズ

1. 左側のペインで、レベルを選択します。
2. アラートタイプテーブルで、アラートのボックスにチェックを付けます。
3. **アラート設定**をクリックします。
4. **継承設定 :** を選択します。

親	その親レベルからアラート設定と通知設定を継承します。
現在のレベルとその下のレベルでのカスタマイズ	選択されたレベルとその下の全てのレベルにカスタマイズされたアラート設定と通知設定を適用します。

5. **保存**をクリックします。

親設定を継承

1. 左側のペインで、サブレベルを選択します。
2. アラートタイプテーブルで、アラートのボックスにチェックを付けます。
3. **ペアレントからの設定を継承する**をクリックします。

ヒント : 複数のアラートの継承設定の変更がサポートされています。

アラートを有効／無効にする

Navicat Monitor が最初にインストールされた時、全てのアラートはデフォルトで有効になっており、インスタンスの潜在的な問題を特定します。

1. 左側のペインで、レベルを選択します。
2. アラートタイプテーブルで、アラートのボックスにチェックを付けます。
3. **アラート設定**をクリックします。
4. **アラートを有効にする**をオンまたはオフにします。
5. **保存**をクリックします。

ヒント : 複数のアラートの有効化または無効化がサポートされています。

アラートのしきい値を設定する

Navicat Monitor は、特定のしきい値に達した時にアラートを生成します。各アラートにはデフォルトのしきい値があります。状況に応じて設定を調整できます。

1. 左側のペインで、レベルを選択します。

- アラートタイプテーブルで、アラートのボックスにチェックを付けます。
- アラート設定**をクリックします。
- アラート設定**セクションで、次の情報を設定します：

次の場合にこのアラートを発生させます：	アラートをトリガーするしきい値を設定します。
クリティカル	監視された値が定義された値を超えると、Navicat Monitor はクリティカルアラートを発生させます。
警告	監視された値が定義された値を超えると、Navicat Monitor は警告アラートを発生させます。
より長く	監視された値が定義された値を超える期間を設定します。

- 保存**をクリックします。

通知設定を設定する

Navicat Monitor は、アラートがトリガーされる度に受信者に通知を送信できます。アラートがトリガーされた時に通知を受け取るユーザーを設定できます。

- 左側のペインで、レベルを選択します。
- アラートタイプテーブルで、アラートのボックスにチェックを付けます。
- アラート設定**をクリックします。
- 通知設定**セクションで、次の情報を設定します：

次の場合に通知を送信します：	通知を送信したいアラートステータス（発生、終了）を選択します。
経由：	通知を送信したい方法（E メール、SMS、SNMP、Slack）を選択します。
受信者（E メールと SMS）：	通知したいユーザーまたは特定のメールアドレス、またはその両方を選択します。

- 保存**をクリックします。

注意：アラートが“有効”の時に通知が生成され、通知を受信する[チャンネル](#)が設定される必要があります。

ヒント：複数のアラートの通知設定の変更がサポートされています。

マネージャーメモを編集する

ロールに割り当てられた権限を持つマネージャーとユーザーは、他のユーザーがアラートを調査するのに役立つマネージャーメモを作成できます。マネージャーメモは、アラートがトリガーされると、[アラートの詳細](#)ページに表示されます。マネージャーのメモを使用して、ユーザーはアラートのステータスを理解したり、アラートによって特定された問題を解決したりできます。

- 左側のペインで、レベルを選択します。

- アラートタイプテーブルで、アラートのボックスにチェックを付けます。
- アラート設定**をクリックします。
- マネージャーメモ**：テキストボックスにそのアラートのメモを入力します。
- 保存**をクリックします。

通知を設定

Navicat Monitor は 4 つのチャンネル（E メール、SNMP トラップ、Slack 通知、SMS メッセージ）を提供し、アラートが監視で発生した時はいつもそのチャンネルに通知を送信します。アラート通知を設定するためには、**設定** -> **通知**に移動します。

E メール通知

- メール**セクションで、**アラート発生**を有効にします。
- 以下の情報を設定します：

SMTP サーバ	送信メッセージ用の SMTP サーバーを入力します。
ポート	送信メール（SMTP）サーバーに接続するポート番号を入力します。
安全な（TLS）接続の要求	SMTP サーバーが安全な暗号化接続を必要とする場合、このオプションを有効にします。
メールサーバにはユーザ名とパスワードが必要です	SMTP サーバーがメールを送信するための認証を必要とする場合、このオプションを有効にします。 アカウントユーザ名とパスワード を入力します。
メールアドレスから送信	Navicat Monitor によって送信される全ての通知メールの“から”フィールドに使用されるメールアドレスを入力します。
この E メールアドレスにテスト様 E メールを送信する／テストメールの送信	メールアドレスを入力して、設定を確認するためのテストメールを送信します。

- 保存**をクリックします。

SNMP 通知

- SNMP v2c** セクションで、**アラート発生**を有効にします。
- 以下の情報を設定します：

SNMP ターゲットアドレス	SNMP トラップを受信するサーバーの IP アドレスを入力します。
SNMP ターゲットポート	SNMP トラップを受信するサーバーのポート番号を入力します。
SNMP コミュニティストリング	サーバーに割り当てられている認証用の SNMP コミュニティストリング（パスワードとして機能）を入力します。
MIB ファイルをダウンロードする	Navicat Monitor が提供する MIB ファイルをダウンロードして、それをサーバーにロードします。
テストトラップの送信	指定したターゲットとポートにテストトラップを送信します。

3. **保存**をクリックします。

Slack 通知

1. **Slack 通知**セクションで、**アラート発生**を有効にします。
2. 以下の情報を設定します：

SLACK WEBHOOK	Slack からコピーされた着信 Webhook URL を入力します。
スラックチャンネル	メッセージを送信するチャンネルの名前を入力します。
テストメッセージを送信する	指定したチャンネルにテストメッセージを送信します。

3. **保存**をクリックします。

SMS 通知

1. **SMS** セクションで、**アラート発生**を有効にします。
2. 以下の情報を設定します：

サービス提供者	要求に基づいて SMS サービスプロバイダーを選択します：Clickatell、Twillio またはその他。
API キー	〔Clickatell〕 Clickatell アカウントの一意の API キーを入力します。
SID アカウント	〔Twillio〕 Twillio アカウントの一意のアカウント SID を入力します。
認証トークン	〔Twillio〕 Twillio アカウントの一意の認証トークンを入力します。
から SMS を送信	〔Twillio〕 送信者の Twillio 電話番号またはメッセージングサービス SID を入力します。
HTTP API の URL	〔その他〕 SMS メッセージ送信用の HTTP-API の URL を入力します。
ポスト／取得する	〔その他〕 HTTP POST または HTTP GET リクエストを使用して SMS メッセージを送信することを選択します。
メッセージキー	〔その他〕 SMS メッセージのテキストのパラメータ名を入力します。
受信者の携帯電話番号キー	〔その他〕 受信者の携帯電話番号のパラメータ名を入力します。
その他の鍵	〔その他〕 SMS プロバイダーを介してメッセージを送信するために必要な他のパラメーター名を入力します。例えば、ユーザー名、パスワード。
値	〔その他〕 指定したパラメータの値を入力します。
この電話番号にテスト様 SMS を送信する／テスト SMS の送信	国を選択し、電話番号を入力して、設定を確認するためのテスト SMS メッセージを送信します。

3. **保存**をクリックします。

カスタムメトリックを作成する

デフォルトでは、Navicat Monitor は監視対象インスタンスからサーバーメトリックの事前設定セットを収集します。独自のクエリを追加して、特定のインスタンスのカスタムパフォーマンスメトリックを収集し、メトリック値が特定のしきい値と期間を超え

た時にカスタムデータに関するアラートを受信する方がいいかもしれません。カスタムメトリックを設定するためには、**設定 -> カスタムメトリック**に移動します。

カスタムメトリックとアラートを作成する

1. カスタムメトリックページで、**+ 新しいカスタムメトリック**をクリックします。
2. [手順 1] カスタムメトリックの定義を入力します。

メトリック名	カスタムメトリックの名前を入力します。
詳細	ユーザーがメトリック値を理解するのに役立つメトリックの説明を入力します。
データベースの種類	インスタンスのデータベースタイプを選択します。
収集するインスタンスを選択	データを収集する特定のインスタンスを選択します。カスタムメトリックチャートが、選択されたインスタンスの インスタンスの詳細 ページに表示されます。
クエリ	データの収集に使用されるクエリを入力します。クエリは単一の数値スカラーまたは NULL 値を返す必要があります。
メトリック収集をテスト	クエリをテストして、適切な期間内に選択されたインスタンスからデータを正常に収集できることを確認します。
データ表示	収集された値または計算された値を使用することを選択します。 収集された値 - クエリの実行後に収集された実際の値。 コレクション間の計算された変化率を使用 - 各コレクション間の秒数で割ったメトリック値の差を測定します。

3. [手順 2] **+ このメトリックのカスタムアラートを追加**をクリックして、カスタムメトリックにアラートを追加します。

アラートを有効にする	アラートを有効にするか無効にするかを選択します。
アラート名	アラートの名前を入力します。
詳細	ユーザーがアラートが発生する原因となる可能性のある状況を理解するのに役立つアラートの説明を入力します。
アラート設定	アラートのしきい値の期間を設定します。詳細については、 アラートのしきい値を設定する を参照してください。
通知設定	アラート通知を定義します。詳細については、 通知設定を設定する を参照してください。

4. [手順 3] 先ほど完了した設定が表示されます：

データ収集を有効にする	デフォルトでは、メトリック収集が有効になっているため、ウィザードの完了後にデータ収集を開始できます。収集を遅らせたい場合、このオプションをオフにします。
アラートを有効にする	アラートを有効にするか無効にするかを選択します。

5. **カスタムメトリックを作成**をクリックします。

カスタムメトリックチャートを表示する

1. カスタムメトリックチャートを表示する
2.  アイコンをクリックして、**新しいタブでチャートを開く**を選択します。
3. カスタムメトリックの[チャート](#)が新しいタブで開きます。

カスタムメトリックとアラートを変更する

カスタムメトリックとアラートを編集する

1. カスタムメトリックページで、メトリック名またはアラート名をクリックします。
2. 設定を変更します。
3. 最後の手順で**保存**をクリックします。

メトリック収集を有効／無効にする

1. カスタムメトリックチャートを表示する
2.  アイコンをクリックして、**データ収集を有効にする／データ収集を無効にする**を選択します。

ヒント：他のアクションをクリックし、**データ収集を有効にする / データ収集を無効にする**を選択して、選択された全てのメトリックのメトリック収集を有効または無効にします。

アラートを有効／無効にする

1. カスタムメトリックチャートを表示する
2.  アイコンをクリックして、**アラートを有効にする／アラートを無効にする**を選択します。

ヒント：他のアクションをクリックし、**アラートを有効にする／アラートを無効にする**を選択して、選択された全てのメトリックのアラートを有効または無効にします。

アラートを削除

1. カスタムメトリックチャートを表示する
2.  アイコンをクリックして、**アラートを削除**を選択します。

ヒント：他のアクションをクリックし、**アラートを削除**を選択して、選択された全てのメトリックのアラートを削除します。

カスタムメトリックとそのアラートを削除

1. カスタムメトリックチャートを表示する
2.  アイコンをクリックして、**メトリックとアラートを削除**を選択します。

注意：カスタムメトリックとアラートの削除は、元に戻すことができない永続的なアクションです。

ヒント：他のアクションをクリックし、メトリックとアラートを削除を選択して、選択されたメトリックとそのアラートを全て削除します。

スケジュールされたレポート

Navicat Monitor を使用して、レポートをスケジュールし、特定の受信者にメールを送信できます。スケジュールされたレポートを管理するためには、**設定 -> スケジュールレポート**に移動します。

スケジュールレポート

+ 新規レポート

全て選択

その他のアクション

並び替え: 最終更新

☐

Weekly Query Report



次の実行
2020-07-02, 00:00

頻度
毎週

受信者
関連インスタンスグループのメンバー

⋮

☐

2018 Review



最終実行
2020-04-06, 19:35 [期限切れ]

受信者
全てのユーザ, admin@abc.com

⋮

☐

2017 Review



最終実行
2019-10-04, 15:15 [期限切れ]

受信者
admin@abc.com

⋮

☐

2019 Review



最終実行
2020-01-01, 00:00 [期限切れ]

受信者
全てのユーザ

⋮

新しいレポートを作成

1. + **新規レポート**をクリックします。
2. レポートを設定します。詳細については、[レポートを作成](#)を参照してください。
3. **レポートを作成**をクリックします。

レポートを編集

1. レポートを選択します。
2. **レポートを編集**をクリックします。
3. レポート設定を変更します。
4. **保存**をクリックします。

レポートを一時停止／再開

1. 関連するレポートを見つけます。
2.  アイコンをクリックして、**レポートを一時停止／レポートを再開**を選択します。

レポートを削除

1. 関連するレポートを見つけます。
2.  アイコンをクリックして、**レポートを削除**を選択します。

ストレージ

リポジトリデータベースを管理

既存のリポジトリデータベースの別のデータベースへの移行には、同じサーバー内の別のデータベースへの移行、または、別のオペレーティングシステムのデータベースへの移行（Windows から macOS など）が含まれます。

リポジトリデータベースを移行した場合、次の手順に従います。

1. [コマンド](#)を実行するか、通知領域／メニューバーのアイコンを使用して、Navicat Monitor サービスを停止します。
2. お使いのデータベース管理ツールで、現在のリポジトリデータベース（構造とデータの両方を含む全てのテーブル）を新しいリポジトリデータベースにコピーします。
3. Navicat Monitor サービスを開始し、ブラウザで Navicat Monitor を起動します。
4. **設定**に移動します。
5. **リポジトリデータベース**をクリックします。
6. **設定の編集**をクリックします。
7. リポジトリデータベースの設定を編集します。

ホスト名	データベースサーバーのホスト名または IP アドレス。
ポート	データベースサーバーに接続するための TCP/IP ポート。
サインイン方法	[SQL Server] 認証方法：SQL Server 認証または Windows 認証。
データベース名	リポジトリデータベースの名前。
名前	データベースサーバーに接続するためのユーザー名。ユーザーアカウントには、次の権限が必要です： MySQL/MariaDB - 全てのデータベースオブジェクトに対する SELECT、INSERT、UPDATE、DELETE、CREATE、DROP、INDEX、ALTER、CREATE TEMPORARY TABLES、CREATE VIEW PostgreSQL - ログインできる、データベースとスーパーユーザーを作成できる SQL Server - CREATE、UPDATE、SELECT、DELETE
パスワード	データベースサーバーに接続するためのパスワード。

8. Navicat Monitor サービスを再起動して監視を再開します。

監視データの消去

リポジトリデータベースには、監視プロセス中に Navicat Monitor によって収集された全てのデータが保存されます。これは、ハードディスク容量を大量に消費する可能性があります。データベースが大きくなりすぎないようにするか、全てのハードディスク領域を使用しないようにするために、定期的な自動データ消去を設定できます。データ消去設定を設定するためには、**設定 -> データ消去**に移動します。

データは、アラートとパフォーマンスデータの2つのカテゴリに保存されます。アラートデータは概要ページ、アラート履歴ページ、アラートの詳細ページの様々なセクションに表示され、パフォーマンスデータは概要ページ、インスタンスの詳細ページ、チャートページの様々なセクションに表示されます。

各カテゴリにデータを保持する期間を選択できます。‘消去しないでください’がデフォルトとして設定されています。これは、データがリポジトリデータベースに無期限に保存されることを意味します。この設定を変更するためには、**これより古いデータを削除**ドロップダウンメニューから時間オプションを選択し、**保存**をクリックします。

4 - 概要

概要ダッシュボード

概要ダッシュボードページには、Navicat Monitor によって監視されている全てのインスタンスが表示されます。高レベルの概要情報とインスタンスの健康状態を取得し、重大な注意が必要なインスタンスを特定できます。



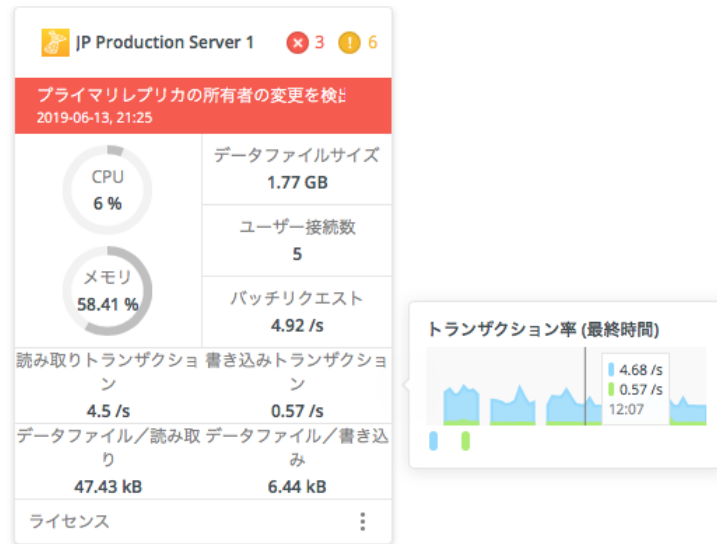
インスタンスカード

インスタンスカードを使用すると、サーバーの状態とシステムリソースの使用状況を確認できます。サーバーを監視するために新しいインスタンスを作成するためには、**+ 新しいインスタンス**をクリックし、サーバーの種類を選択します。次に、新しいインスタンスウィンドウに適切な情報を入力します。詳細については、[インスタンスを作成](#)をご覧ください。

デフォルトでは、インスタンスカードには使用可能なすべてのシステムリソースの使用状況が表示されます。**カードのデザイン**をクリックして、不要なメトリックのチェックを外します。**コンパクト**または**快適**を選択することにより、最適な表示スタイルを変更できます。快適ビューはカード上の選択されたメトリックを表示し、コンパクトビューは全てのメトリック情報を非表示にします。

新しいインスタンスを作成する時、そのインスタンスを可用性グループに割り当てることができます。**新しいインスタンスを作成する時、そのインスタンスを可用性グループに割り当てることができます。**、**DB タイプ**、または、**フラット化**を選択して、ダッシュボードのビューを変更できます。

カード内のメトリックにカーソルを合わせると、小さなチャートが表示されます。チャート上でマウスポインタを移動すると、その時点の時間と値が表示されます。



インスタンス上でクリックして、その[詳細とメトリックス](#)を表示できます。

インスタンスの監視を一時停止

特定のインスタンスの監視を一時的に停止したい場合があります。 アイコンをクリックし、 アイコンをクリックし、**監視を一時停止**を選択します。Navicat Monitor は監視が再開するまでサーバーからの情報収集を停止します。監視を再開するためには、 から**監視の再開**を選択します。

メトリックの更新を停止

Navicat Monitor は、ダッシュボードのメトリックを 60 秒ごとに更新します。メトリックの更新を停止または開始するためには、 **||** アイコンまたは **▶** アイコンをクリックします。停止期間中、サーバーデータの収集は停止しません。

インスタンスの順序を変更

並べ替えをクリックして、並べ替えオプションを選択します。**アラートの重大度**を選択すると、インスタンスカードは、重大度レベルによってクリティカルから低い方にソートされます。位置をカスタマイズするためには、インスタンスカードの **⋮** アイコンをクリックして押したまま、カードを希望の位置にドラッグアンドドロップします。Navicat Monitor は、カスタムオーダーを自動的に記憶します。インスタンスを別のグループに移動する場合、インスタンスが属するグループが変更されます。



注意：カスタムソートはフラット化ビューでのみ使用できます。

インスタンスにフィルタをかける

DB タイプビュー／フラット化ビューを使用している場合、**フィルタ**をクリックし、グループ名を選択して、それに属する全てのインスタンスを表示します。



グループビューを使用している場合、サーバーの種類にチェックを付けて、インスタンスにサーバーの種類によるフィルタをかけます。



インスタンスの健康状態によってインスタンスにフィルタをかけることもできます。色付きのタグは、クリティカルアラートのあるサーバー（赤）、警告のあるサーバー（オレンジ）、正常なサーバー（緑）、および、監視を一時停止または停止したサーバー（灰色）の合計数を示します。タグをクリックして、選択されたグループの状態によってインスタンスにフィルタをかけます。



インスタンスを検索

多くのインスタンスを監視している場合、検索機能を使用して簡単に必要なインスタンスを見つけることができます。**インスタンスの検索**テキストボックスに検索文字列を入力します。インスタンスカードは、検索文字列によってすぐにフィルタをかけられます。

最新のアラート

右側のペインには、Navicat Monitor で発生した最近のアラートが表示されます。 アイコンをクリックすると、非表示になります。個々のアラートをクリックすると、その詳細ページにリダイレクトされます。**全ての履歴を見る**をクリックすると、[アラート](#)ページが開きます。

インスタンスの詳細

インスタンスの詳細を表示

概要ページで、インスタンスカードをクリックして、その**インスタンスの詳細**ページを開きます。サーバーのパラメータとメトリックが視覚的に表示され、サーバーの負荷とパフォーマンスをすばやく確認できます。ここで、**監視を一時停止**および**監視の再開**ボタンを使用して、インスタンスの監視を一時停止および再開できます。Navicat Monitor は監視が再開するまでサーバーからの情報収集を停止します。



全ての監視対象のインスタンスが左側のペインに表示されます。インスタンスを選択して、それに関連する情報を表示します。

インスタンスの詳細ページの情報

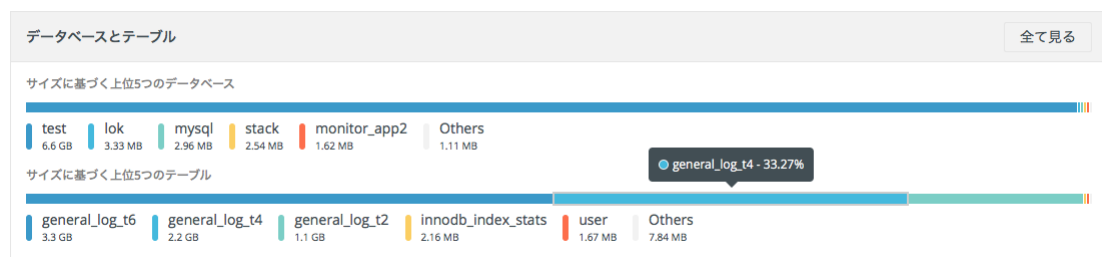
概要

サーバーに関するホスト情報、サーバーのプロパティ、アラート、ステータスが表示されます。[インスタンス変数](#)を表示または編集するためには、[インスタンス変数の表示と編集](#)をクリックします。アラートが発生した場合、それをクリックして[アラート](#)ページを開きます。

データベースとテーブル

サイズによって上位 5 つのデータベースまたはテーブルを表示し、残りのデータベースまたはテーブルをグループ化する“その他”と呼ばれる 6 番目のカテゴリを表示します。これにより、サーバー上のどのデータベースとテーブルが最大であるかをすばやく簡単に確認できます。

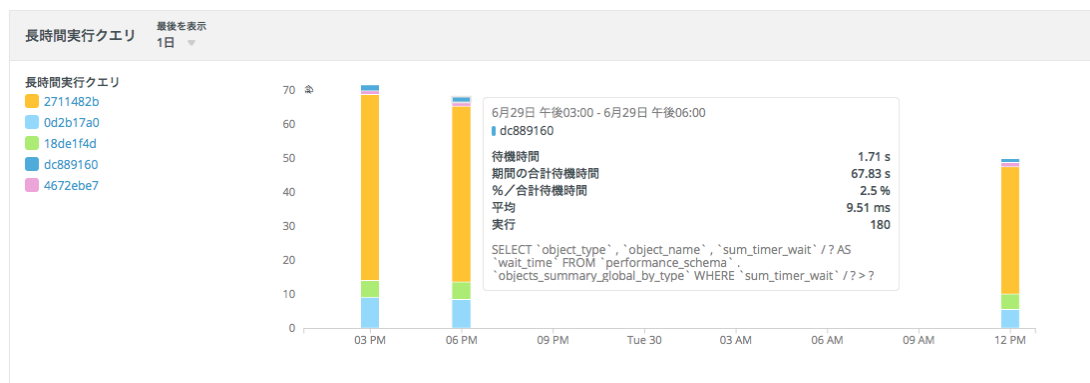
各セグメントにカーソルを合わせると、サイズの割合（%）が表示されます。インスタンス内の全てのデータベースとテーブルの[サイズ情報](#)を表示するためには、[全て表示](#)をクリックします。



長時間実行クエリ

長時間実行クエリチャートには、1 時間あたりの平均待機時間が[ポリシー](#)よりも長いクエリが表示されます。**表示：最近の**ドロップダウンメニューを使用して、期間を選択します。

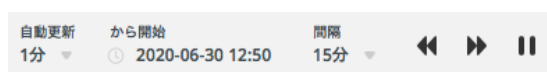
各クエリは一意の色で表示されます。バーセグメントにカーソルを合わせると、クエリステートメントや合計待機時間を含む、クエリの詳細ビューが表示されます。チャートにドリルダウンするためには、チャートをクリックして[長時間実行クエリ](#)ページを開きます。



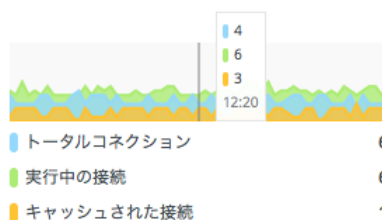
チャート

Navicat Monitor は、サーバーパフォーマンスメトリック（ユーザーが作成した[カスタムメトリック](#)を含む）を、小さなチャートとして表される視覚化の形式で表示します。チャートは、一定の間隔でデータを追跡および更新し、事前定義された様々な色と記号を使用して関連するメトリックを表示します。小さなチャートでは、軸の目盛りとラベルは表示されません。

時間間隔（X 軸）と更新オプションが設定可能です。**自動更新**ドロップダウンメニュー、**から開始**日時ピッカー、**時間間隔**ドロップダウンメニュー、および、移動矢印を使用します。



マウスポインタをチャート上の一点に移動して、その値を読み取ることができます。個々のチャートまたは複数のチャートの詳細を表示するためには、チャートをクリックして、[チャート](#)ページを開きます。



インスタンス変数を表示、編集

インスタンスの詳細ページで、**インスタンス変数の表示と編集**をクリックして、サーバー変数を表示または編集します。**インスタンス変数**ページにはサーバー変数が表示され、複数のサーバーの変数を比較して、1 つのサーバーのパフォーマンスが同じ状態の他のサーバーと同じではない理由を判別できます。

左側のペインで複数のインスタンスを選択して、それらの変数を比較します。値は横に並べて表示され、違いが一目でわかります。該当しない変数は *N/A* と表示されます。

JP Testing Server, HK Production Server 1

概要 インスタンスの詳細 インスタンス変数

Q インスタンスの検索

Production

☒ HK Production Server 1

☐ UK Production Server 1

☐ US Production Slave 2

Testing

☒ JP Testing Server

インスタンス変数

↑ 全て拡張する ↓ 全て崩壊する

一般的

メモリ

bulk_insert_buffer_size

host_cache_size

join_buffer_size

large_pages

large_page_size

parser_max_mem_size

preload_buffer_size

query_alloc_block_size

query_cache_limit

query_cache_min_res_unit

query_cache_size

query_cache_type

query_cache_wlock_invalidate

query_prealloc_size

range_alloc_block_size

read_buffer_size

read_rnd_buffer_size

sort_buffer_size

stored_program_cache

table_definition_cache

JP Testing Server

HK Production Server 1

8388608	8388608
279	N/A
262144	131072
OFF	OFF
0	0
N/A	N/A
32768	32768
16384	8192
1048576	1048576
4096	4096
1048576	0
OFF	ON
OFF	OFF
24576	8192
4096	4096
131072	131072
262144	262144
2097152	2097144
256	N/A
400	256

変数を編集するためには、値にカーソルを合わせて、**編集**をクリックします。

⬇️ 全て拡張する

⬆️ 全て崩壊する

一般的

autocommit

auto_generate_certs

basedir

big_tables

block_encryption_mode

completion_type

core_file

datadir

JP Testing Server

ON

N/A

/usr/local/opt/mariadb

OFF

N/A

NO_CHAIN

N/A

/usr/local/var/mysql/

データベースとテーブルのサイズを表示

インスタンスの詳細ページで、データベースとテーブルセクションの**全て表示**をクリックします。**データベースとテーブル**ページには、サーバー内のデータベースとテーブルがそのサイズと共に一覧表示されます。リストは、サイズ順になっています。左側のペインでインスタンスをクリックして、そのデータベースとテーブルのページにジャンプします。

データベースとテーブル

データベース	サイズ	
test	6.6 GB	
lok	3.33 MB	
mysql	2.96 MB	
stack	2.54 MB	
monitor_app2	1.62 MB	
monitor_test	933.89 kB	
information_schema	180.22 kB	
performance_schema	0 B	

テーブル	データベース	サイズ	
general_log_t6	test	3.3 GB	
general_log_t4	test	2.2 GB	
general_log_t2	test	1.1 GB	
innodb_index_stats	mysql	2.16 MB	
user	lok	1.67 MB	

長時間実行クエリ

長時間実行クエリについて

インスタンスの詳細ページで、長時間実行クエリチャートをクリックします。**長時間実行クエリ**ページでは、履歴データを使用して、リソースを消費している長時間実行クエリを特定し、パフォーマンスの問題の根本的な原因を調査します。データは毎秒収集され、時間の経過とともに自動的に圧縮されます。



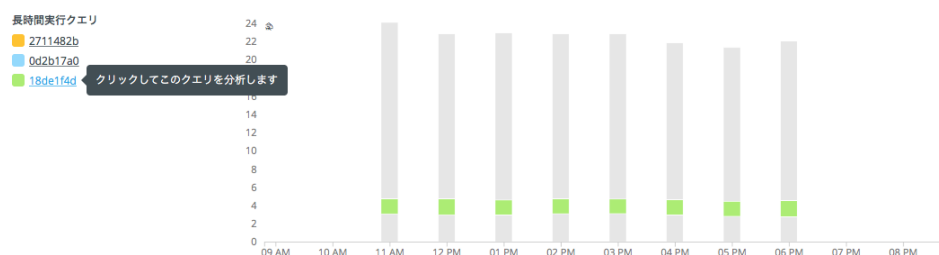
監視されている全てのインスタンスが左側のペインに表示されます。インスタンスを選択して、その長時間実行クエリチャートを表示します。

Navicat Monitor はクエリに関する様々な追加情報を提供します。タブをクリックして、対応するチャートを表示します。使用可能なタブは、選択されたインスタンスのサーバーの種類によって異なります。

ヒント：SQL Server インスタンスの**プラン**チャートを表示する場合、**xml をダウンロード**列のエントリをクリックすることにより実行プラン情報を XML ファイルとして保存し、それらを開いて表示することができます。



凡例のエントリにカーソルを合わせると、チャート内の各シリーズが強調表示され、視覚化が向上します。



時間セクターは、チャート内に表示する期間と間隔（X 軸）を選択するためのものです。これには、日時ピッカー、間隔ドロップダウンメニュー、パンニング矢印が含まれています。

期間 2020-06-29 08:48 - 2020-06-29 20:48 間隔 CUSTOM (12H) ◻ ◻ ◻

ヒント：時間間隔をカスタマイズするためには、マウスホイールを使用してチャートを拡大／縮小します。チャートをクリックして左右にドラッグし、期間を変更します。

ヒント：📄 をクリックして、[レポート](#)メールを送信するスケジュールを設定します。

クエリの詳細を編集する

クエリの名前を変更

デフォルトでは、Navicat Monitor はクエリごとにハッシュされた名前を生成します。人間が読める名前に変更できます。

1. テーブルのクエリ名にカーソルを合わせ、**編集**をクリックします。
2. **クエリ名**に新しい名前を入力します。
3. **保存**をクリックします。

チャートからクエリを除外

チャートからクエリを除外するのに役立ちます。例えば、バックアップ、レプリケーションなどに関連するクエリを除外できます。

1. テーブルのクエリ名にカーソルを合わせ、**編集**をクリックします。
2. **長時間実行クエリチャートのこのクエリを除外する**を有効にします。
3. **保存**をクリックします。

注意：除外された全てのクエリは、[長時間実行クエリポリシー](#)に一覧表示されます。

特定のクエリを分析

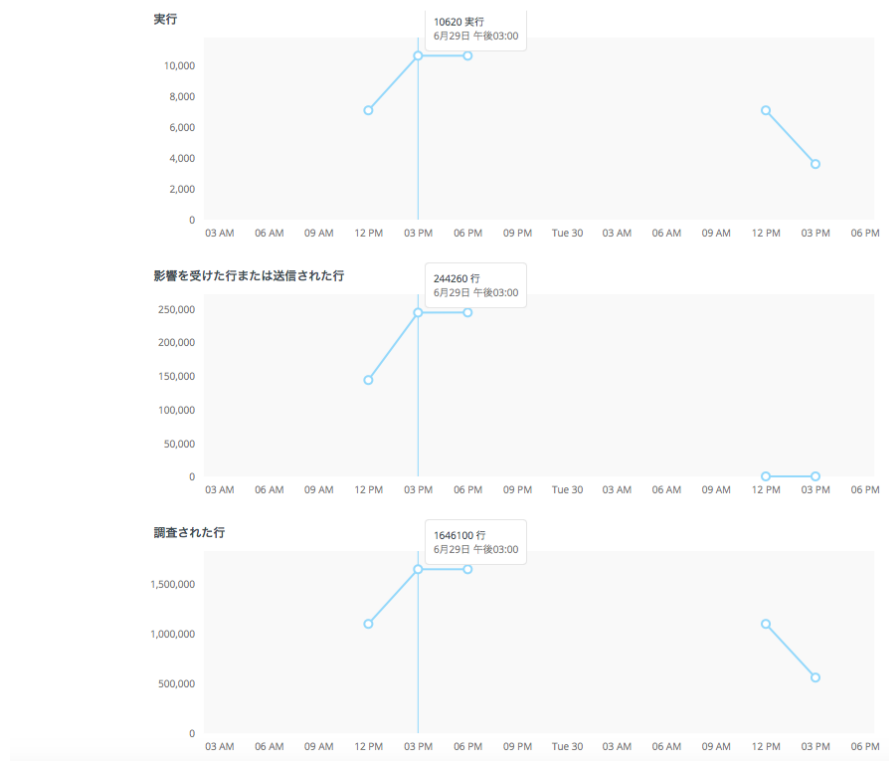
SQL チャートでは、クエリを分析して、それが遅い理由を特定できます。

特定のクエリを掘り下げて調査するためには、凡例ラベルをクリックするか、チャートの棒セグメントをダブルクリックします。クエリの過去の実行状況を確認し、関連する全てのトラブルシューティング情報を 1 つのビューで表示できます。タブをクリックすると、クエリに関連する他のチャートが表示されます。



分析チャート

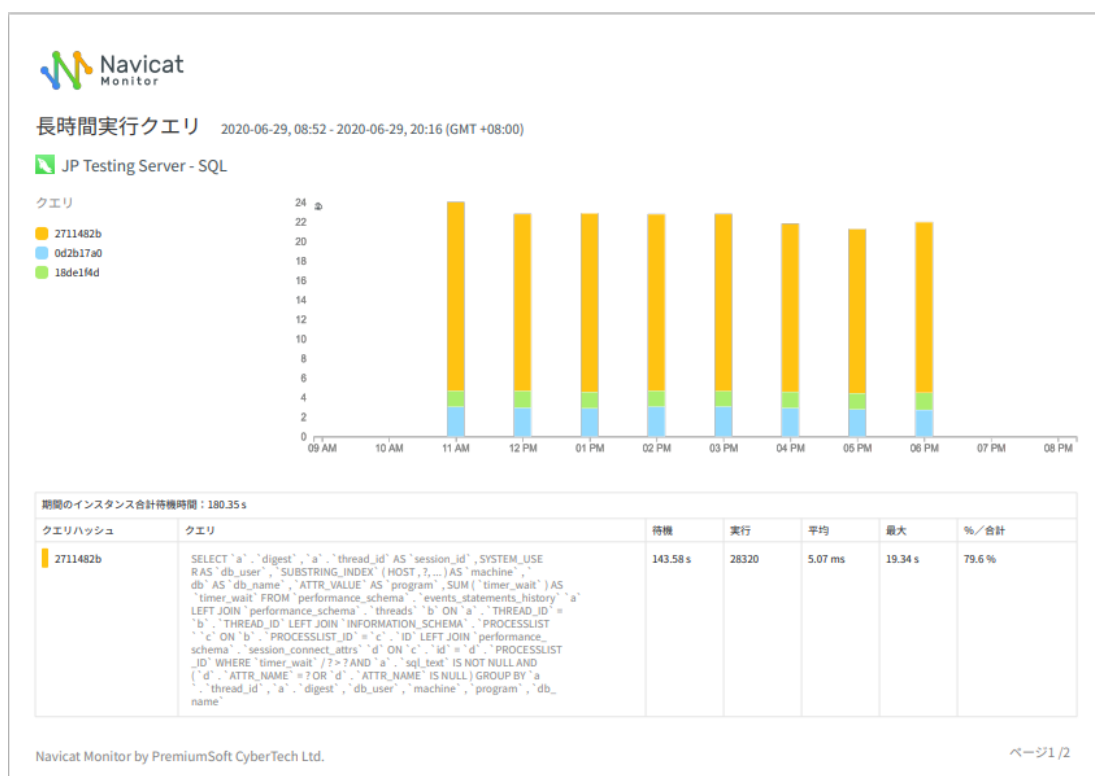
分析タブを選択し、ページを下にスクロールして、分析チャートを確認します。いずれかのチャートで 1 点にカーソルを合わせると、ツールチップの値と垂直線が自動的にポップアップ表示されます。



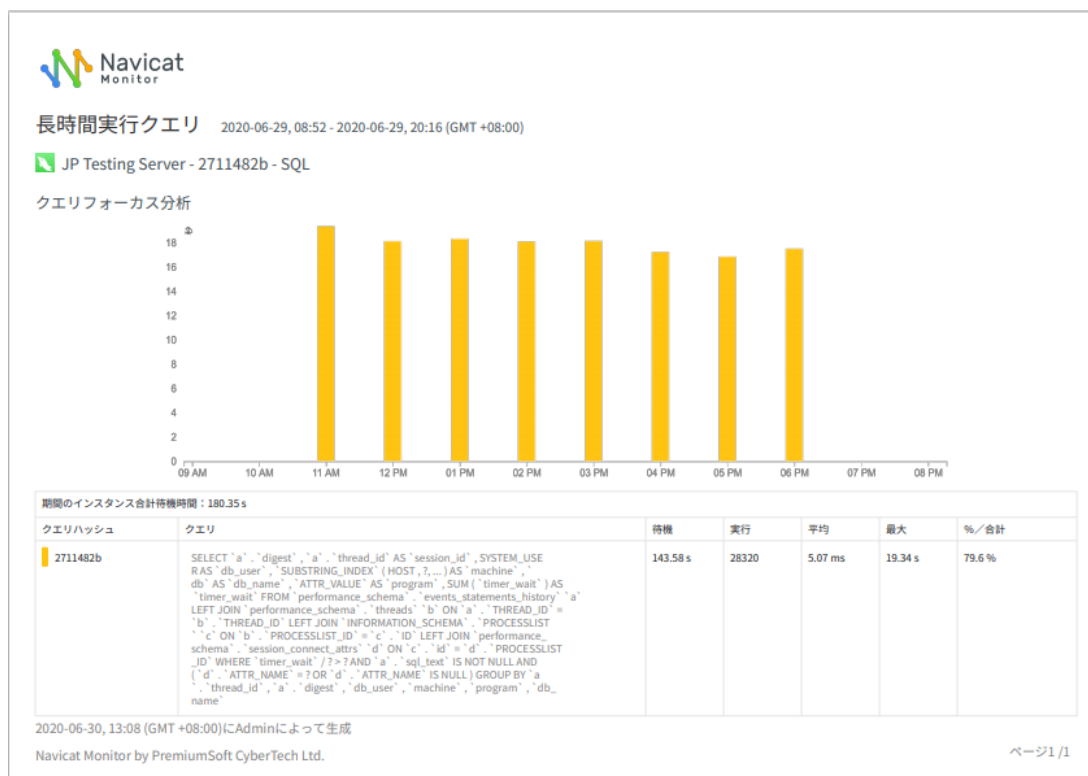
長時間実行クエリチャートをエクスポート

長時間実行クエリチャートは PDF ファイルとしてエクスポートできます。現在のチャートをエクスポートするためには、 をクリックします。

全てのクエリチャート



単一のクエリチャート

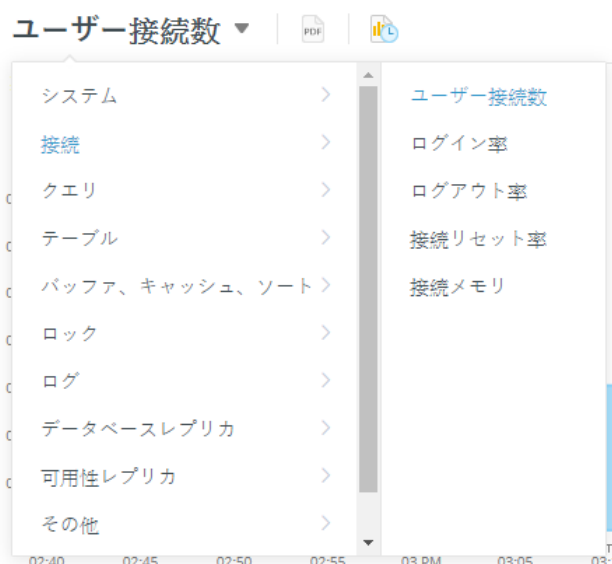


チャート

チャートについて

インスタンスの詳細ページのそれぞれの小さなチャートは、大きなチャートとして開くことができます。**チャート**ページには、指定されたサンプル間隔に対するメトリックと詳細なチャート情報が表示されます。様々な定義済みの色と記号を使用して、関連するメトリックを表示します。インスタンスがある期間に監視を停止された場合、チャートのその期間に使用できるメトリックはありません。

Navicat Monitor は 40 種類以上のチャートを提供します。チャートのタイトルをクリックすると、チャートのタイプを変更できます。



Navicat Monitor は、面チャートと折れ線チャートの 2 つの時系列チャートをサポートしています。折れ線チャートと面チャートを切り替えるためには、 または  をクリックします。

エリアチャート

接続解析 ▼

PDF

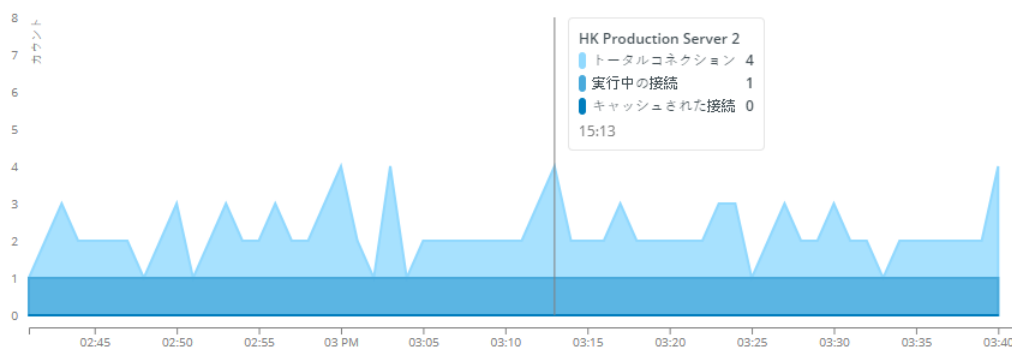


期間

🕒 2020-08-26 14:41 - 2020-08-26 15:41

間隔

1時間 ▼



チャート説明

現在開いている接続、スリープしていないスレッド、およびスレッドキャッシュ内のスレッド数を表示します。

HK Production Server 2

トータルコネクション
実行中の接続
キャッシュされた接続

	平均値	分	最大
トータルコネクション	2.2	1	4
実行中の接続	1	1	1
キャッシュされた接続	0	0	0

折れ線チャート

接続解析 ▼

PDF

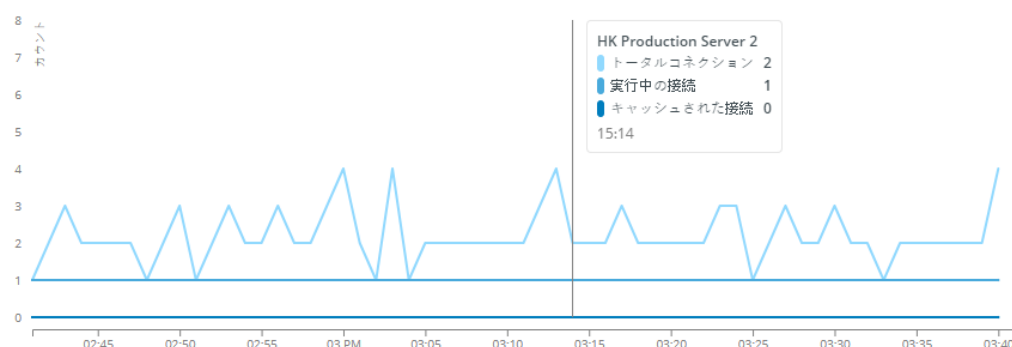


期間

🕒 2020-08-26 14:41 - 2020-08-26 15:41

間隔

1時間 ▼



チャート説明

現在開いている接続、スリープしていないスレッド、およびスレッドキャッシュ内のスレッド数を表示します。

HK Production Server 2

トータルコネクション
実行中の接続
キャッシュされた接続

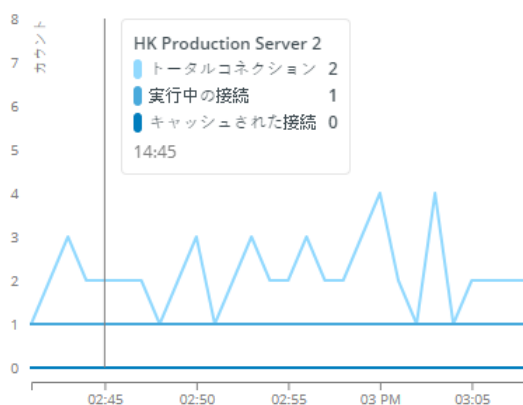
	平均値	分	最大
トータルコネクション	2.2	1	4
実行中の接続	1	1	1
キャッシュされた接続	0	0	0

時間セクターは、チャート内に表示する期間と間隔（X 軸）を選択するためのものです。これには、日時ピッカー、間隔ドロップダウンメニュー、パンニング矢印が含まれています。

期間 2020-08-26 14:48 - 2020-08-26 15:48 間隔 1時間

ヒント：時間間隔をカスタマイズするためには、マウスホイールを使用してチャートを拡大／縮小します。チャートをクリックして左右にドラッグし、期間を変更します。

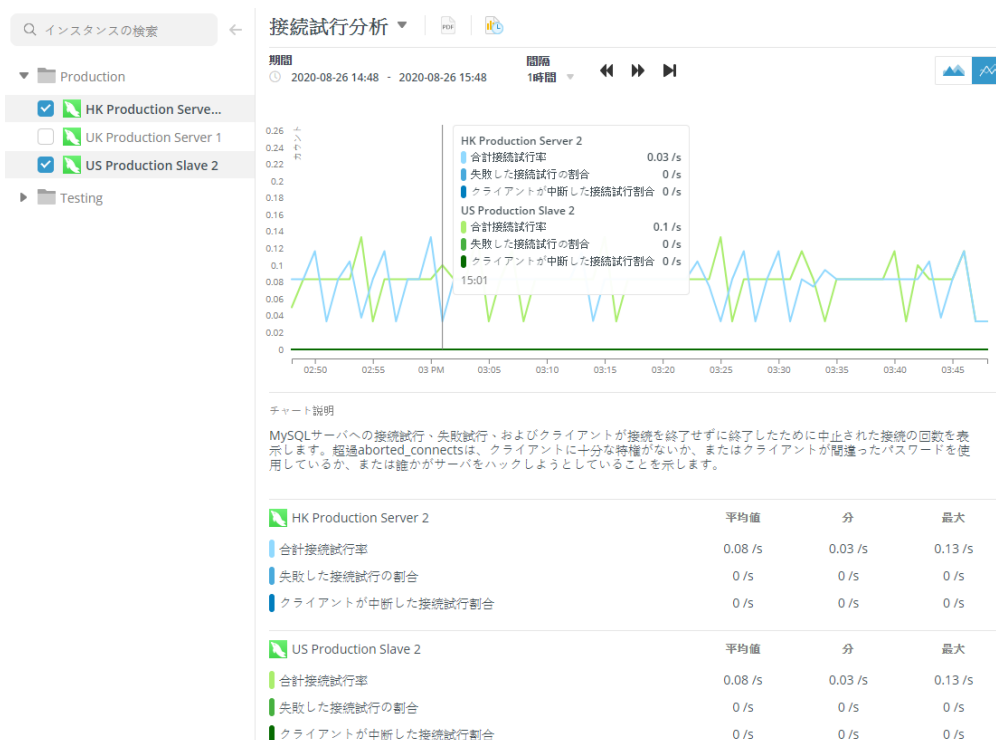
チャート上のポイントにマウスポインタを移動すると、そのポイントでの時間と凡例がメトリックと共に表示されます。サンプル時間内の選択されたインスタンスに関する計算された統計（平均、最小、最大）が下部に表示されます。



ヒント：  をクリックして、[レポート](#)メールを送信するスケジュールを設定します。

メトリックを比較

複数のインスタンスのメトリックを同じチャートに同時に表示して、データを比較したり分析したりできます。チャートの各線／各領域は、選択されたインスタンスのパフォーマンスを表します。左側のペインでインスタンスを選択して、そのメトリックをチャートに追加します。同じ方法で、チャートからメトリックを削除します。



チャートをエクスポート

全てのチャートを PDF ファイルとしてエクスポートすることができます。現在のチャートをエクスポートするためには、 をクリックします。

単一チャート



比較チャート



5 - アラート

アラートについて

Navicat Monitor はサーバーで問題を検出するとアラートを出します。アラートには、**警告**（オレンジ）と**クリティカル**（赤）の2つの種類があります。警告アラートはサーバーのパフォーマンスには影響しませんが、問題を示し、調査が必要な場合があります。クリティカルアラートは、サーバーのパフォーマンスに影響を与えている、または影響を与えるであろう深刻な問題を示します。このような問題は、直ちに対処する必要があります。

アラートが発生すると、アラート履歴ページと概要ダッシュボードに表示されます。通知は、割り当てられたグループメンバーまたは特定の人に送信されます。

特定のインスタンスやグループに関するアラートをトリガーするようにしきい値をカスタマイズし、誰にアラート通知を送信するかを設定できます。詳細については、[アラートポリシー](#)と[アラート通知](#)を参照してください。

アラート履歴

アラート履歴を表示

アラート履歴ページでは、アラートテーブルを参照したり、特定のアラートを開いたり、それをユーザーに割り当てたり、一度に複数のアラートを選択したりできます。

アラートテーブルは自動的に更新され、60秒ごとに新しいアラートをチェックします。アラートがトリガーされた時間に基づいて、最新の10個のアラートが表示されます。アラートは、発生した時刻（開始時刻）でソートされます。列のタイトルをクリックして、その列で並べ替えます。

アラート履歴

フィルタ：オープン 高度フィルタ

列を表示/隠す 1 - 10 は合計143 10 / ページ < 1 2 3 4 5 6 ... 15 >

合計：143件のアラート

☐	タイプ	ID	インスタンス	深刻度	状態	開始時間	終了時間	読受人
☒	1秒あたりのページ読み取り	74701	JP Production...	クリティカル	オープン	14:18	まだ終了していない	
☐	1秒あたりのページ読み取り	74700	JP Production...	警告	オープン	14:18	まだ終了していない	T Tommy
☐	SQL再コンパイルのパフォーマンス	74644	JP Production...	警告	オープン	10:21	まだ終了していない	
☒	キャッシュからのワークテーブルの割合	74629	JP Production...	クリティカル	オープン	09:28	まだ終了していない	
☐	ディスク読み取り遅延	74622	JP Production...	クリティカル	オープン	09:25	まだ終了していない	A Admin
☐	ディスク読み取り遅延	74621	JP Production...	警告	オープン	09:25	まだ終了していない	
☐	キャッシュからのワークテーブルの割合	74615	JP Production...	警告	オープン	09:20	まだ終了していない	S Steven
☐	ディスク書き込み遅延	74585	JP Production...	警告	オープン	8月25日 09:18	まだ終了していない	
☐	使用中のInnoDBバッファプール	74514	JP Testing Ser...	警告	オープン	8月24日 09:19	まだ終了していない	
☐	InnoDBバッファプールのヒット率	74511	JP Testing Ser...	警告	オープン	8月24日 09:19	まだ終了していない	

< 1 2 3 4 5 6 ... 15 >

監視されている全てのインスタンスが左側のペインに表示されます。レベルを選択すると、そのレベルに関連するアラートのみが表示されます。

ページごとに表示されるアラートの数を変更するためには、**X / ページ**をクリックして、事前定義された数を選択します。デフォルトでは、テーブル内の使用可能な全ての列が表示されます。**列を表示/隠す**をクリックし、非表示にしたい列を選択します。**デフォルトに戻す**を選択して、テーブルをそのデフォルト設定に戻します。

アラートの詳細情報を表示したい場合、アラートをクリックしてその[詳細](#)ページにリダイレクトします。アラートを開くと、それは自動的に既読になります。

アラートを割り当てる

1. アラートにカーソルを合わせ、**割り当て先**をクリックします。

	タイプ	ID	インスタンス	深刻度	状態	開始時間	終了時間	読取人
	1秒あたりのページ読み取り	74701	JP Production... クリティカル		オープン	14:18	まだ終了していない	
	1秒あたりのページ読み取り	74700	JP Production... 警告		オープン	14:18	まだ終了していない	Tommy
	SQL再コンパイルのパフォーマンス	74644	JP Production... 警告		オープン	10:21	まだ終了していない	割り当て先
	キャッシュからのワークテーブルの割合	74629	JP Production... クリティカル		オープン	09:28	まだ終了していない	

2. ユーザーを選択します。
3. **ユーザの割り当て**をクリックします。

アラートにフィルタをかける

デフォルトでは、アラート履歴テーブルには、全てのインスタンスの"オープン"アラートが表示されます。左側のインスタンスペインを使用するか、事前定義されたフィルタを使用するか、独自のフィルタを作成することにより、アラートにフィルタをかけることができます。

注意：適用されたフィルタは、インスタンスペインでインスタンスまたはグループを選択すると、保持されます。

インスタンスペイン

インスタンスペインは、アラートが表示されるインスタンスを制御します。左側のリストでグループを選択すると、テーブルにはそのグループの全てのインスタンスに関連するアラートのみが一覧表示されます。また、インスタンスの名前がページ見出しに表示されます。

JP Production Server 1 ▼

アラート

JP Production Server 1 ▼

JP Testing Server

アラート履歴

フィルタ：オープン ▼ 高度フィルタ ▶

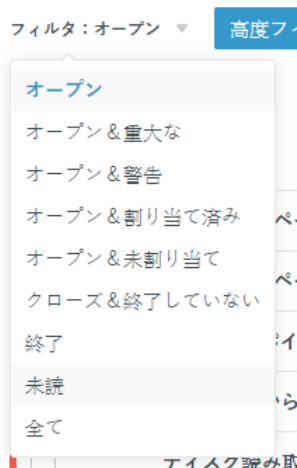
合計：13件のアラート

☐	タイプ	ID	インスタンス	深刻度	状態
☐	1秒あたりのページ読み取り	74701	JP Production... クリティカル	オープン	
☐	1秒あたりのページ読み取り	74700	JP Production... 警告	オープン	
☐	SQL再コンパイルのパフォーマンス	74644	JP Production... 警告	オープン	
☐	キャッシュからのワークテーブルの割合	74629	JP Production... クリティカル	オープン	
☐	ディスク読み取り遅延	74622	JP Production... クリティカル	オープン	
☐	ディスク読み取り遅延	74621	JP Production... 警告	オープン	
☐	キャッシュからのワークテーブルの割合	74615	JP Production... 警告	オープン	

定義済みフィルタ

フィルタドロップダウンメニューには、アラートにフィルタをかけるためのいくつかの定義済みフィルタが含まれています。例えば、開かれているクリティカルアラートまたは警告アラート、または開かれている全てのアラートを表示できます。

フィルタをクリックして、ドロップダウンメニューからフィルタを選択するだけです。



高度フィルタ

高度フィルタを使用すると、カスタマイズされた条件に基づいてアラートにフィルタをかけることができます。**高度フィルタ**をクリックして高度フィルタペインを展開します。



高度フィルタペインを折りたたむためには、**高度フィルタ**をもう一度クリックするか、ペインの下部にある**フィルタを非表示**をクリックします。

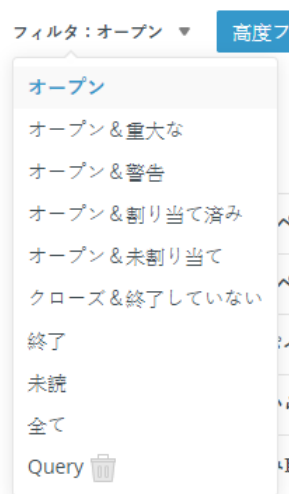
高度フィルタを適用

1. 高度フィルタペインで、必要なフィルタオプションの組み合わせを選択します。
2. **フィルタの適用**をクリックします。

ユーザー定義フィルターを作成する

1. 高度フィルタペインでフィルタオプションを選択した後、**カスタムフィルタとして保存**をクリックします。

2. フィルタ名を入力して、**保存**をクリックします。
3. カスタムフィルタが**フィルタ**ドロップダウンメニューに表示されます。



注意:  をクリックして、カスタムフィルタを削除します。アラート履歴テーブルはデフォルトでオープンに戻ります。

アラートの詳細

概要ページまたはアラート履歴ページでアラートをクリックして、その詳細ページを表示します。**アラートの詳細**ページでは、発生したアラートの詳細情報を表示したり、それを既読／未読としてマークしたり、それを開いたり閉じたり、それをメンバーに割り当てたり、コメントを追加したりできます。このページを開くと、アラートは自動的に"既読"としてマークされます。

アラートの詳細ページの情報

概要

アラートの現在のステータス、発生時刻、終了時刻が表示されます。

アラートの詳細

アラート名、このアラートの説明、および、問題の調査と解決に役立つ Navicat Monitor からのアドバイスが表示されます。このアラートのコメントを書き込むためには、**備考を追加**をクリックします。

最後の発生

現在のインスタンスに対して発生したこの種類のアラートの最新の 7 つが一覧表示されます。全ての発生を表示するためには、**全て表示**をクリックします。

チャート

アラートの種類に応じて、様々なチャートが表示されます。それらは、アラートが発生した時間の前後にキャプチャされた様々なパフォーマンスカウンター値とプロセス情報を表示します。値を読み取るためには、マウスポインターをチャート上のポイントに移動します。

アラートを割り当てる

メンバーにアラートを割り当てる

1. **割り当て先**をクリックします。
2. ユーザーを選択します。
3. **ユーザの割り当て**をクリックします。

ユーザーの割り当てを解除

1. 譲受人列で、ユーザーのアバターをクリックします。
2. **割り当てされたユーザの消去**を選択します。

6 - クエリアナライザ

クエリアナライザを起動

クエリアナライザツールは、クエリログのグラフィカルな表現を提供し、クエリパフォーマンスの監視と最適化、クエリアクティビティ統計の視覚化、SQL ステートメントの分析、長時間実行クエリの迅速な特定と解決を可能にします。クエリアナライザの使用を開始するためには、左側のペインで分析したいインスタンスを選択すると、すぐに分析が開始されます。しばらくすると、分析結果が表示されます。



Navicat Monitor はクエリアナライザのメトリックを 60 秒ごとに更新します。メトリックの更新を停止または開始するためには、**||** アイコンまたは **▶** アイコンをクリックします。停止期間中、サーバーデータの収集は停止しません。

最新のデッドロッククエリ

選択されたインスタンスで検出された最新のデッドロックのトランザクション情報を表示されます。**全て表示**をクリックして、[全てのデッドロックを表示](#)できます。

プロセスリスト

選択されたインスタンスで実行中のプロセスの合計数が表示され、ID やコマンドタイプ、ユーザー、データベース、時間情報を含む最後の 5 つのプロセスが一覧表示されます。**全て表示**をクリックして、[全てのプロセスを表示](#)できます。

クエリアナライザ

クエリアナライザは、次の方法でクエリステートメントに関する情報を収集します。

MySQL/MariaDB インスタンスの場合、Navicat モニターは

- サーバーから一般的なクエリログを取得し、情報を分析します。
- サーバーからスロークエリログを取得し、情報を分析します。

- performance_schema データベースに問い合わせを行い、特定のパフォーマンス情報を分析します。

注意：パフォーマンススキーマは、MySQL Server 5.5.3 以降でサポートされています。クエリステートメントは正規化され、最大長は 1024 バイトです。異なるリテラル値を持つ同様のクエリは結合されます。引用符で囲まれた値と数値は"?"に置き換えられます。

SQL Server インスタンスの場合、Navicat Monitor は

- 実行に関連する動的管理ビューに問い合わせを行い、特定のパフォーマンス情報を分析します。



上位 5 つのクエリ

最も時間のかかる上位 5 つのクエリがグラフとともに表示され、潜在的な問題をすぐに観察することができます。🔄 をクリックして、上位 5 つのクエリリストを更新できます。

- 合計時間に基づく上位 5 つのクエリ - クエリステートメント。
- カウント - クエリが実行された回数。
- 合計時間 - クエリの全ての実行の累積実行時間。
- ユーザ@ホスト - クエリを実行したユーザー。

クエリテーブル

クエリテーブルは、実行された全てのクエリの要約情報を提供します。発生統計が計算され、結果が表示されます。クエリにカーソルを合わせて完全なクエリステートメントを表示し、**クエリのコピー**をクリックしてそれをコピーします。

クエリ	カウント	クエリの発生	合計時間	タイムマックス	瞬間平均ミリ秒	最後に見る
SELECT 'SUBSTRING_INDEX' ('event_name', ?, ...) AS 'wait_type', 's...	24442	43.98	15.32	0.0398	0.6269	8月27日 24:07
SELECT 'a', 'digest', 'a', 'thread_id' AS 'session_id', SYSTEM_USE...	24442	43.98	143.49	0.3446	5.87	8月27日 24:07
SELECT MAX ('digest_text') AS QUERY, SUM ('count_star') AS 'count...	423	0.7611	4.29	0.4224	10.15	8月27日 24:07
START TRANSACTION ;	415	0.7467	0.0096	0.0001	0.023	8月27日 24:07

列を表示/隠すをクリックし、非表示にしたい列を選択します。**デフォルトに戻す**を選択して、テーブルをデフォルト設定に戻します。

クエリにフィルタをかけたりソートすることができます。**クエリの検索**ボックスに検索文字列を入力してテーブルにフィルタをかけ、列名をクリックしてテーブルを並べ替えます。

1 ページあたりのクエリ数を変更するためには、**X / ページ**をクリックして、事前定義された数を選択します。テーブル内のクエリの総数を変更するためには、**クエリの合計数**をクリックし、事前定義された数を選択します。

デッドロックを表示

デッドロックページには、Navicat Monitor がそれに関する情報を持っている選択されたインスタンスで検出された全てのデッドロックが表示されます。

デッドロック

更新時間: 秒

1 - 10 は合計 28 10 / ページ **1** 2 3

08:38		❌ ロールバック	
✔️ 成功しました		❌ X lock acquired on 2	
-- X lock acquired on 1		-- X lock acquired on 2	
トランザクションID	3843	トランザクションID	3844
トランザクション活動時間	22	トランザクション活動時間	12
使用中のテーブル	1	使用中のテーブル	1
ロックされたテーブル	1	ロックされたテーブル	1
行ロック	2	行ロック	2
スレッドID	439	スレッドID	434
ホスト	192.168.1.180	ホスト	192.168.1.180
ユーザ	root	ユーザ	root
DB	test	DB	test
テーブル	table1	テーブル	table1

08:37		❌ ロールバック	
✔️ 成功しました		❌ X lock acquired on 2	
-- X lock acquired on 1		-- X lock acquired on 2	
トランザクションID	3843	トランザクションID	3844
トランザクション活動時間	22	トランザクション活動時間	12
使用中のテーブル	1	使用中のテーブル	1
ロックされたテーブル	1	ロックされたテーブル	1
行ロック	2	行ロック	2
スレッドID	439	スレッドID	434
ホスト	192.168.1.180	ホスト	192.168.1.180
ユーザ	root	ユーザ	root
DB	test	DB	test
テーブル	table1	テーブル	table1

監視されている全てのインスタンスが左側のペインに表示されます。インスタンスを選択して、そのデッドロックを表示します。

デフォルトでは、デッドロックリストは 5 秒ごとに自動的に更新されます。自動更新時間を変更したい場合は、**更新時間** ドロップダウンメニューを使用します。自動更新を一時停止するためには、 をクリックします。

更新時間: 秒

デッドロックにフィルタをかけることができます。**デッドロックの検索** ボックスに検索文字列を入力して、リストにフィルタをかけます。

1 ページあたりに表示されるデッドロック数を変更するためには、**X / ページ** をクリックして、事前定義された数を選択します。

プロセスリストを表示

プロセスリストページには、選択されたインスタンスで現在実行されている全てのプロセスが表示されます。どのクエリが現在実行されているのかを確認できます。プロセスリストは、次の詳細情報を提供します。

MySQL/MariaDB

- ID - スレッド ID。
- ユーザ@ホスト - ステートメントを発行したユーザー。
- DB - ユーザーが現在使用しているデータベース。

- コマンド - ユーザーが発行したコマンドの種類。
- 時間 - スレッドがその現在の状態である時間（秒）。
- 態 - スレッドが行っていることを示す状態。
- 情報 - スレッドが行っていることを示す状態。

SQL Server

- SPID - SQL Server のセッション ID。
- ログイン - ログイン名。
- HOST_NAME - ワークステーションの名前。
- DB - プロセスによって現在使用されているデータベースの ID。
- コマンド - 現在実行されているコマンド。
- LAST_BATCH - クライアントプロセスがリモートプロシージャ呼び出しまたは EXECUTE ステートメントを実行した最後の時刻。
- 状態 - Process ID のステータス。
- DISK_IO - プロセスのディスク読み込みと書き込みの累計数。
- CPU_TIME - プロセスの累計 CPU 時間。
- BLOCKED_BY - リクエストをブロックしているセッションの ID。
- REQUEST_ID - リクエストの ID。
- PROGRAM_NAME - アプリケーションプログラムの名前。

プロセス一覧 更新時間: 秒 ▾ ||

🔍 スレッドの検索 10 / ページ ▾

ID ▾	ユーザ@ホスト ▾	DB ▾	コマンド ▾	時間 ▾	態 ▾	情報 ▾	アクション
1	system user@		Daemon		InnoDB purge coo...		×
2	system user@		Daemon		InnoDB purge wor...		×
3	system user@		Daemon		InnoDB purge wor...		×
4	system user@		Daemon		InnoDB purge wor...		×
5	system user@		Daemon		InnoDB shutdown ...		×
2100	root@192.168.2.3:60532		Query	0	Init	SHOW VARIABLES ...	×

監視されている全てのインスタンスが左側のペインに表示されます。インスタンスを選択して、そのプロセスリストを表示します。

デフォルトでは、プロセスリストは 5 秒ごとに自動的に更新されます。自動更新時間を変更したい場合は、**更新時間** ドロップダウンメニューを使用します。自動更新を一時停止するためには、**||** をクリックします。

更新時間: 秒 ▾ ||

スレッドのリストにフィルタをかけたりソートすることができます。**スレッドの検索**ボックスに検索文字列を入力してリストにフィルタをかけ、列名をクリックしてリストを並べ替えます。

1 ページあたりに表示されるスレッドの数を変更するためには、**X /ページ**をクリックして、事前定義された数を選択します。

プロセス終了

利用可能な CPU とメモリのリソースを大量に使用し、他の有効なクエリをブロックする可能性があるスロークエリや長時間実行時間クエリが見つかる場合があります。スレッドを即座に停止するためには、**アクション**列の **X** をクリックし、ポップアップダイアログで**プロセス終了**をクリックします。

7 - 複製

監視対象レプリケーション

監視対象レプリケーションページには、監視されるレプリケーションに関連する全ての情報が表示されます。レプリケーションの状態を監視したり、レプリケーションの問題を診断したり、レプリケーションがシームレスに機能することを確認したりできます。Navicat Monitor は、スレーブのステータス、設定、パフォーマンスに関する詳細情報を提供します。

Navicat Monitor は、ダイアグラムビューとリストビューの 2 つのレプリケーションビューをサポートしています。ビューを切り替えるためには、 または  をクリックします。

レプリケーションの詳細情報を表示したい場合は、スレーブをクリックすると[詳細](#)ページにリダイレクトします。

ヒント:  をクリックして、[レポート](#)メールを送信するスケジュールを設定します。

レプリケーションにフィルタをかける

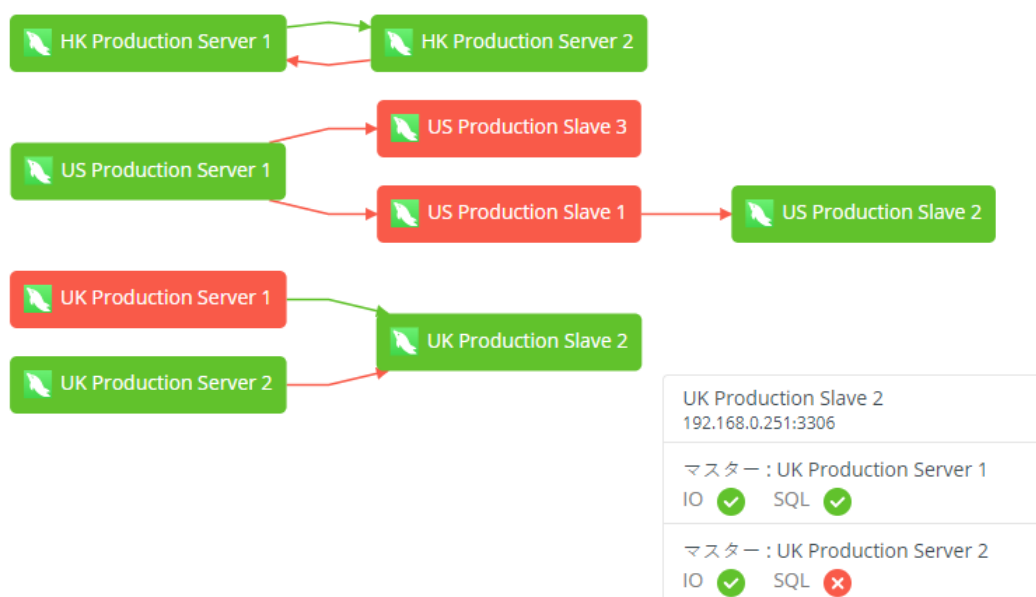
Navicat Monitor は、監視対象インスタンスの全てのレプリケーション関係を表示します。特定のサーバータイプのレプリケーションを表示するためには、サーバータイプのチェックボックスにチェックを付けます。

場合によっては、正常なレプリケーションを非表示にし、正常ではないレプリケーションに焦点を当てたい場合があります。ダイアグラムビューで**正常なレプリケーションを非表示にする**オプションを有効にすることができます。

MySQL / MariaDB レプリケーション

ダイアグラムビュー

このビューには、マスターサーバーとそのスレーブの階層と関係が視覚的に表示されます。スレーブにカーソルを合わせると、その I/O スレッドと SQL スレッドのステータスが表示されます。



インスタンスブロックと矢印は、レプリケーションの様々な状態を表すために色分けされています。

- 緑のブロックは、サーバーが起動している（安定している）ことを示します。
- 赤のブロックは、サーバーが停止していることを示します。
- 緑の矢印は、レプリケーションが進行中で、スレーブがそのマスターに合わせて最新になっていることを示します。
- 赤の矢印は、レプリケーションが停止（切断）されており、スレーブがマスターに対して最新でない可能性があることを示します。

ヒント：マウスホイールを使用してグラフをズームイン／ズームアウトします。グラフをクリックしてドラッグし、移動します。

リストビュー

このビューには、登録されている全てのマスターサーバーとスレーブサーバーが表示され、レプリケーションの詳細は表で示されます。全てのマスターサーバーとそのスレーブをグループ化します。共通のステータス情報が列に表示されます。各マスター名の左側にある矢印をクリックして、そのスレーブのステータスと設定を展開または折りたたみます。

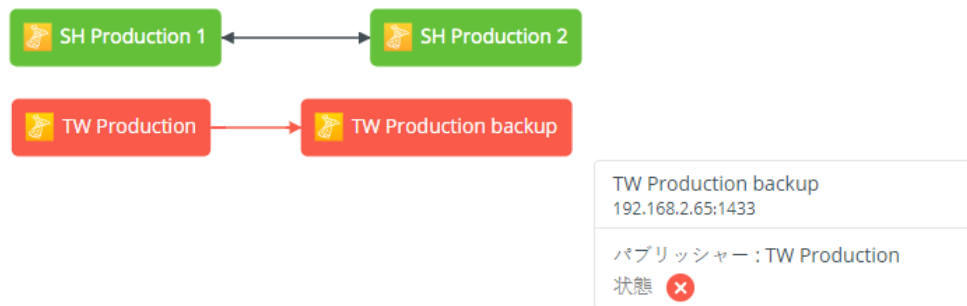
マスター	スレーブ名	ホスト：ポート	状態	マスターログファイル	ポジション	スレーブIO状態
▼ HK Production Server 1	HK Production Server 2	192.168.0.246:3306	IO	SQL	mysql-bin.000887	743
	HK Production Server 1	192.168.0.246:3306	IO	SQL	mysql-bin.000797	106
▼ UK Production Server 1	UK Production Slave 2	192.168.0.251:3306	IO	SQL	mysql-bin.000507	150
	UK Production Slave 2	192.168.0.251:3306	IO	SQL	mysql-bin.000497	154
▼ US Production Server 1	US Production Slave 3	192.168.0.99:3306	IO	SQL	mysql-bin.000816	106
	US Production Slave 1	192.168.0.98:3306	IO	SQL	mysql-bin.000816	106
▼ US Production Slave 1	US Production Slave 2	192.168.1.232:3306	IO	SQL	mysql-bin.000461	106

カラーバーは、レプリケーションスレーブの様々な状態（安定（緑）、切断（赤））を表します。それにカーソルを合わせると、時間が表示されます。

SQL Server トランザクションレプリケーション / マージレプリケーション

ダイアグラムビュー

このビューには、パブリッシャーとそのサブスクライバーの階層と関係が視覚的に表示されます。サブスクライバーにカーソルを合わせると、その同期ステータスが表示されます。



インスタンスブロックは、サーバーの様々な状態を表すために色分けされています。

- 緑のブロックは、サーバーが起動している（安定している）ことを示します。
- 赤のブロックは、サーバーが停止していることを示します。
- 緑の矢印は、トランザクションレプリケーションが進行中で、サブスライバーがそのマスターに合わせて最新になっていることを示します。
- 赤の矢印は、トランザクションレプリケーションが停止（切断）されており、サブスライバーがそのマスターに対して最新でない可能性があることを示します。
- 黒の矢印はマージレプリケーションを示します。

ヒント： マウスホイールを使用してグラフをズームイン／ズームアウトします。グラフをクリックしてドラッグし、移動します。

リストビュー

このビューには、登録されている全てのパブリッシャーとサブスライバーが表示され、レプリケーションの詳細は表で示されます。全てのパブリッシャーとそのサブスライバーをグループ化します。共通のステータス情報が列に表示されます。各パブリッシャー名の左側にある矢印をクリックして、そのサブスライバーの情報を展開または折りたたみます。

パブリッシャー	サブスライバー	ホスト：ポート	状態	サブスライバーのIO状態
SH Production 1	SH Production 2	192.168.2.68:1433	STATE	
	SH Production 2	192.168.2.69:1433	同期レコードなし	Waiting 60 second(s) before pollin...
TW Production	TW Production backup	192.168.2.64:1433	STATE	
	TW Production backup	192.168.2.65:1433	✖	No replicated transactions are avail...

カラーバーは、レプリケーションの様々な状態（成功／安定（緑）、失敗／切断（赤））を表します。それにカーソルを合わせると、時間が表示されます。

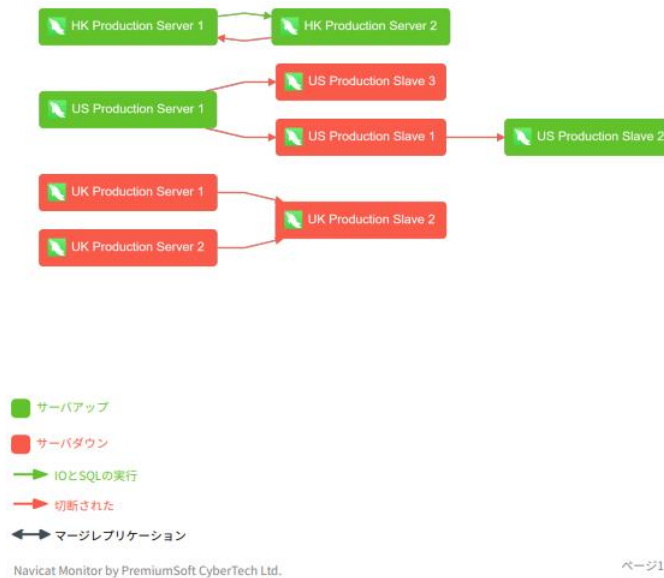
レプリケーションをエクスポート

レプリケーションのダイアグラムとリストを PDF ファイルとしてエクスポートできます。レプリケーションをエクスポートするためには、 をクリックします。

レプリケーション図

レプリケーション図

2020-08-26, 16:26 (GMT+08:00)にAdminiによって生成



レプリケーションリスト

レプリケーションリスト 2020-08-26, 15:26 - 2020-08-26, 16:26 (GMT+08:00)

マスター	スレーブ名	ホスト : ポート	IO	SQL	マスターログファイル	ポジション	スレーブIO状態
HK Production Server 1	HK Production Server 2	192.168.0.246:3306	✓	✓	mysql-bin.000887	743	Waiting for master to send event
HK Production Server 2	HK Production Server 1	192.168.0.246:3306	✗	✗	mysql-bin.000797	106	
UK Production Server 1	UK Production Slave 2	192.168.0.251:3306	✓	✗	mysql-bin.000507	150	Waiting for master to send event
UK Production Server 2	UK Production Slave 2	192.168.0.250:3306	✓	✗	mysql-bin.000497	154	Waiting for master to send event
US Production Server 1	US Production Slave 3	192.168.0.99:3306	✓	✗	mysql-bin.000816	106	Waiting for master to send event
	US Production Slave 1	192.168.0.98:3306	✓	✗	mysql-bin.000816	106	Waiting for master to send event

レプリケーションの詳細を表示

レプリケーションの詳細ページには、監視対象レプリケーションページで選択したスレーブ/サブスクライバーの詳細なレプリケーション情報が表示されます。

レプリケーションの詳細ページの情報

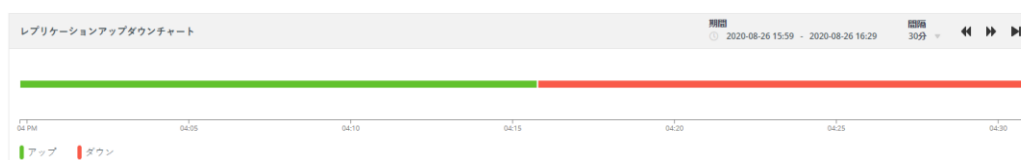
概要

このページの最初に、サーバーに関する情報が一覧表示されます。MySQL/MariaDB マルチソースレプリケーションの場合、マスター名をクリックして、レプリケーションの詳細を表示できます。

スレーブIP：ホスト 192.168.0.251:3306		
マスター：UK Production Server 1		マスター：UK Production Server 2
マスターホスト：ポート	マスターログファイル	ポジション
192.168.0.249:3306	mysql-bin.000507	150
現在のステータス	スレーブIO状態	
IO  SQL 	Waiting for master to send event	

レプリケーションアップダウンチャート

レプリケーションのアップダウンステータスのチャートまたは失敗成功ステータスのチャートが表示されます。時間セクターは、チャート内に表示する期間と間隔（X 軸）を選択するためのものです。これには、日時ピッカー、間隔ドロップダウンメニュー、パンニング矢印が含まれています。



エラー履歴

監視中に発生したレプリケーションエラーが表示されます。表示されるエラーの数を変更するためには、**X / ページ**をクリックして、事前定義された数を選択します。

スレーブステータスとスレーブ構成

これらの2つのセクションは、SHOW SLAVE STATUS ステートメントの結果セットを表示します。

注意：MySQL/MariaDB のみ使用可能です。

レプリケーションステータスとレプリケーション設定

これらの2つのセクションは、MSdistribution_agents または MSmerge_agents テーブルへの問い合わせの結果セットを表示します。

注意：SQL Server のみ使用可能です。

8 - レポート

レポートを作成

Navicat Monitor を使用すると、レポートを作成、設定、スケジュールできます。レポートに含めることができる 4 種類のチャート／ダイアグラムをサポートしています。

- アップダウンステータス
- 面／折れ線チャート
- レプリケーション図
- 長時間実行クエリ分析

新しいレポートを作成する

 アイコンまたは+ **新規レポート**をクリックすると、次のページで新しいレポートを作成できます。

- [チャート](#)
- [長時間実行クエリ](#)
- [レプリケーション](#)
- [設定](#)

ヒント：設定ページに移動して、レポートを編集および削除できます。

ターゲットインスタンス*

☐ 全てのインスタンス
 ☐ Production

☒ HK Production Server 1
 ☐ HK Production Server 2
 ☐ JP Production Server 1
 ☐ JP Production Server 2
 ☐ UK Production Server 1
 ☐ UK Production Server 2
 ☒ UK Production Slave 2
 ☐ US Production Server 1
 ☐ US Production Slave 1
 ☐ US Production Slave 2
 ☐ US Production Slave 3

☐ Testing

推奨チャート*

アップダウンステータス

チャートを削除

面/折れ線チャート

チャートを削除

チャート - MYSQL/MARIADBのみ

スワップの使用 (%) ×

ネットワーク入出力 ×

チャートの種類

面

折れ線

レプリケーション図

チャートを削除

レプリケーションリストを追加

長時間実行クエリ分析

チャートを削除

分析

すべての長時間実行クエリ

チャートの種類 - MYSQL/MARIADBのみ

☒ SQL
 ☐ プログラム
 ☐ オブジェクト
 ☐ 待機
 ☐ データベース
 ☒ ファイル
 ☐ 待機インストールメンツ
 ☐ マシン
 ☐ 操作
 ☐ DBユーザー

1. インスタンスを選択します。
2. レポートに含めたいチャート/ダイアグラムを追加します。レポートへのチャート/ダイアグラムの追加に関する詳細については、[チャート/ダイアグラムを追加](#)を参照してください。
3. メールの詳細を入力します。

レポート名	レポートの名前を入力します。メールの件名に表示されます。
言語	PDF レポートに使用したい言語を選択します。
メッセージ	(オプション) レポートを説明するメッセージを入力します。
スケジュール	レポートを受信者にメールで送信したいタイミングを選択します。レポートのメール送信の詳細については、 レポートスケジュールを設定 を参照してください。
受信者	受信者のメールアドレスを入力してください。受信者を区切るためにはカンマを使用します。
関連するインスタンスグループのメンバーを追加	選択されたインスタンスの全てのメンバーにレポートメールを送信します。
すべてのユーザーを追加	全てのユーザーにレポートメールを送信します。
このメールアドレスにテストレポートを送信/テスト実行	設定を確認するためのテストメールを送信するメールアドレスを入力します。

4. **レポートを作成**をクリックします。

ヒント: レポートには複数のタイプのインスタンスを含めることができます。

84

チャート / ダイアグラムを追加

レポートには複数のチャートとダイアグラムを追加することができます。

アップダウンステータス

インスタンスのアップダウンステータスチャートを追加します。

面／折れ線チャート

インスタンスの[チャート](#)を追加します。

チャート	レポートに追加したいチャートを選択します。 注意： 複数のタイプのインスタンスが選択されている場合、インスタンスのタイプごとに対応する面チャート／折れ線チャートを追加できます。
チャートの種類	チャートのタイプを選択します：面チャートまたは折れ線チャート。

レプリケーション図

インスタンスの[レプリケーション](#)ダイアグラムを追加します。レプリケーションリストの詳細を追加する場合、**レプリケーションリストを追加**オプションにチェックを付けます。

長時間実行クエリ分析

インスタンスの[長時間実行クエリ](#)チャートを追加します。

分	分析したいクエリを選択します：すべての長時間実行クエリまたはフォーカスクエリ分析。
クエリ名	分析したいクエリの名前を入力します。
チャートの種類	チャートのタイプを選択します。 注意： 複数のタイプのインスタンスが選択されている場合、インスタンスのタイプごとに対応する長時間実行クエリチャートを追加できます。

レポートスケジュールを設定

Navicat Monitor を使用すると、レポートをメールで送信するスケジュールを設定できます。各レポートは、チャートとダイアグラムを含む PDF ファイルとしてメールでメールで送信されます。レポートを作成または編集する時、メールのスケジュールを設定するするセクションがあります。

スケジュール* 毎週 ▼ 水曜日 ▼ の 11:00 に

今後のレポートデータは、2020-08-26, 11:00から2020-09-02, 11:00になります。

受信者* 関連インスタンスグループのメンバー ✕ 全てのユーザ ✕

人の追加

+ 関連するインスタンスグループのメンバーを追加 + すべてのユーザーを追加

このメールアドレスにテストレポートを送信

テスト実行

スケジュールを選択してレポートのスケジュールを設定し、次にレポートの頻度を選択できます。

- **1回のみ** - レポートはレポートデータ期間の間のデータを使用して生成され、終了日として選択した日時に 1 回だけ送信されます。終了日が現在の日付より前の場合、すぐに送信されます。
- **毎日** - レポートは前日のデータを使用して生成され、毎日同じ時刻に送信されます。
- **毎週** - レポートは過去 7 日間のデータを使用して生成され、毎週同じ曜日の同じ時刻に送信されます。
- **毎月** - レポートは前の 1 か月のデータを使用して生成され、その月の同じ日の同じ時刻に送信されます。

注意：メールを送信するために Navicat Monitor を設定する必要があります。詳細については、[通知を設定](#)を参照してください。

9 - コマンド

Navicat Monitor コマンド

コマンドラインを使用して、Windows、macOS、または Linux 上の Navicat Monitor サービスを管理できます。Navicat Monitor のインストールフォルダまたはプログラムパスは次のとおりです。

Windows

C:\Program Files\PremiumSoft\Navicat Monitor

macOS

/Applications/NavicatMonitor.app/Contents/Resources/

Linux

/opt/navicatmonitor/x86_64-linux-gnu/

注意：Linux オペレーティングシステムでは、コマンドは"navicatmonitor"アカウントで実行する必要があります。

構文

navicatmonitor [command]

利用可能なコマンド

browser	Navicat Monitor Web URL でブラウザを開きます。
diagnostic	診断情報を表示します。
help	コマンドのヘルプ情報を印刷します。
passwd	スーパーユーザーのパスワードをリセットします。
restart	Navicat Monitor を再起動します。
start	Navicat Monitor を起動します。
status	Navicat Monitor のステータス情報を印刷します。
stop	Navicat Monitor を停止します。
version	Navicat Monitor のバージョン番号を印刷します。

例

navicatmonitor stop

navicatmonitor restart

10 - トラブルシューティング

ログファイル

Navicat Monitor ログファイルには、あらゆる種類のサーバーエラーとメッセージの詳細な記録があります。これらのファイルは、Navicat Monitor の問題を追跡するのに役立ちます。ログファイルをダウンロードするためには、次の手順に従います。

1. **設定**に移動します。
2. **について**をクリックします。
3. **診断**セクションまでスクロールします。
4. **全てのログファイルの取得**をクリックして、ログファイルを含む.zip ファイルをダウンロードします。